

macOS / OS X 用

プリンター/ダイレクトファクス/PostScript®
ドライバー操作ガイド



Bonjour、Macintosh、macOS および OS X は、Apple Inc. の商標です。
Adobe、PostScript、および PostScript ロゴは、
Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。
その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5、平成丸ゴシック体 W4 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。ただし、本機をご利用いただくために本書を参照する場合に限り、本書を複製することができます。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、Mac OS 用プリンター/ダイレクトファクス/PostScript® ドライバーをコンピューター (Macintosh) にインストールする方法と、印刷時に設定できる項目について記載しています。ご使用にあたっては、必ず本書をお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、本書の内容は、ご使用になるコンピューター (Macintosh) の基本的な知識や操作方法、およびプリンターの操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いの機器の操作方法については、お使いの機器に付属のマニュアルをお読みください。

お使いの機器を PostScript® プリンターとして使用するには、オプションの PostScript® ソフトウェアキットが必要です。

また、お使いの機器にファクス機能が搭載されていない場合は、ダイレクトファクスドライバーはインストールできません。

富士ゼロックス株式会社

目次

はじめに	3
目次	4
本書の表記	6
動作環境	6
1 プリンタードライバー	
プリンタードライバーのインストールの手順	8
インストールする前に（ネットワーク環境で使用する場合）	8
プリンタードライバーの用意	8
プリンタードライバーのインストール	8
プリンターの追加	8
オプションの設定	13
印刷ウィンドウ	14
[レイアウト] ウィンドウ	16
[用紙処理] ウィンドウ	17
[給紙] ウィンドウ	18
[表紙] ウィンドウ	18
[認証情報] ウィンドウ	19
[プリント種類] ウィンドウ	22
[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ	24
[カスタム用紙サイズ] ウィンドウ	29
エラーメッセージ一覧	31
2 ダイレクトファクスドライバー	
ファクスドライバーのインストール	33
ファクスの追加	33
オプションの設定	38
印刷ウィンドウ	40
[レイアウト] ウィンドウ	41
[用紙処理] ウィンドウ	42
[表紙] ウィンドウ	44
[ファクス構成] ウィンドウ	45
[ファクス設定] ウィンドウ	46
[認証情報] ウィンドウ	47
ファクス送信時のウィンドウ	50
[ファクス送信] ウィンドウ	50
[宛先表] ウィンドウ	51
[宛先情報] ウィンドウ	53
[通信設定] ウィンドウ	53
[個人データの新規登録] ウィンドウ	55
[グループの新規登録] ウィンドウ	56
[ファクス宛先データの読み込み] ウィンドウ	56
[ファクス宛先の再入力] ウィンドウ	57

[認証情報の入力] ウィンドウ	57
[ファクス送信先の確認] ウィンドウ	58

3 PostScript® ドライバー

同梱品の確認と設置	60
書体の表示について	60
プリンター側の設定	60
PPD ファイルのインストールとプリンターの追加	61
PPD ファイルのインストール	61
プリンターの追加	61
プリンターオプションの設定	65
設定項目	65
PostScript® ドライバーの設定	67
設定項目	67
注意 / 制限事項	77

本書の表記

- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記

- 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足

- 補足事項を記述しています。

参照

- 参照先を記述しています。
- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	• メッセージの表記、ファイル名、設定値、設定文字、入力例を表しています。 また、参照する章項のタイトルを表しています。
『 』	• 参照するマニュアルやヘルプを表しています。
[]	• ディスプレイや操作パネルに表示される項目、メニュー、ボタンなどを表しています。
< >	• 実行時に変わる名前や値を表しています。

本書は、macOS 10.12 を使用して説明しています。

設定項目や画面例は、お使いの OS、お使いの機器の機種、ドライバーのバージョン、アプリケーションなどにより異なります。

また、単位表示は、お使いの OS の設定により異なります。

動作環境

Macintosh 用ドライバーの動作環境は、次のとおりです。

■対象 OS

弊社公式サイトまたはお使いの機器に付属のマニュアルを参照してください。

■インターフェイス

- USB*
- Ethernet (対応プロトコル：LPR、Bonjour)

*：USB インターフェイスを標準装備していることが必要です。(ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。)

1 プリンタードライバー

プリンタードライバーのインストールの手順

インストールする前に（ネットワーク環境で使用する場合）

お使いの機器を、Ethernet 接続によってネットワーク環境で使用する場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、次の設定を確認してください。

Macintosh 側	機器側
<ul style="list-style-type: none"> • IP アドレスの設定、および [システム環境設定] • ウィンドウで TCP/IP の設定がされていること 	<ul style="list-style-type: none"> • IP アドレスが設定されていること • LPD プロトコルが起動されていること（工場出荷時は起動されています。）

参照

- お使いの機器の設定方法については、お使いの機器に付属のマニュアルを参照してください。
- Macintosh 側の設定方法については、Macintosh に付属のマニュアルを参照してください。

プリンタードライバーの用意

コンピューターから印刷するために、メディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）からプリンタードライバーをインストールします。

また、インターネットに接続の環境をお使いの方は、下記の弊社公式サイトから、最新版の Mac OS 用のプリンタードライバーを、お使いのコンピューター (Macintosh) にダウンロードできます。

注記

- 通信費用はお客様の負担になります。ご了承ください。

弊社の公式サイト URL <http://www.fujixerox.co.jp/>

プリンタードライバーのインストール

Macintosh 用プリンタードライバーをコンピューター (Macintosh) にインストールします。

同梱のメディア（ソフトウェア / 製品マニュアル）からインストールする手順を説明します。

注記

- Mac OS にプリンタードライバーをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

- 1 [Software] > [MacPrinter] > [MacOSX] > [Common] ボリューム内にある [Fuji Xerox Print Driver for Mac OS X Installer] アイコンをダブルクリックします。
- 2 インストーラーが表示されますので、画面の指示に従いインストールしてください。

プリンターの追加

[プリンタリスト] ウィンドウに、お使いの機器を追加します。

事前準備

- 1 お使いの機器の電源が入っていることを確認します。
USB 接続の場合は、USB ケーブルでコンピューター（Macintosh）とお使いの機器が正しく接続されていることも確認します。
- 2 [Apple] メニューから [システム環境設定 ...] を開き、[プリンタとスキャナ]（OS により異なります）を選択します。
[プリンタとスキャナ]（OS により異なります）ウィンドウが表示されます。
- 3 [プリンタとスキャナ] ウィンドウにある左下の [+] ボタンをクリックします。
[プリンタリスト] ウィンドウが表示されます。

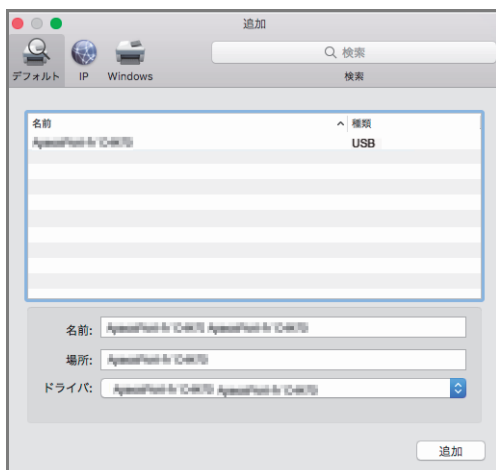
お使いの機器と Macintosh の接続の方法により、この後の手順は、次のように違います。

USB 接続の場合

補足

- USB ケーブルを接続して、お使いの機器の電源を入れると、自動でリストに、お使いの機器が追加されます。

- 1 [プリンタリスト] ウィンドウの [デフォルト] をクリックします。



- 2 [ドライバ] から [ソフトウェアを選択 ...] を選択します。
[プリンタソフトウェア] が表示されます。
- 3 表示されたドライバの一覧から、「FX Print Driver for Mac OS X v.xxx」を選択します。

補足

- 「xxx」は、バージョンを表します。

- 4 [追加] をクリックします。
オプションの設定画面が表示されます。



- 5 お使いの機器にインストールされているオプションの設定をします。



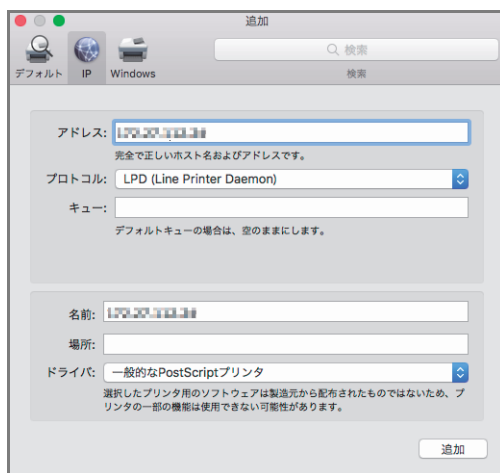
- オプションの設定の詳細は、本書「オプションの設定」(P.13)の「設定項目一覧」をお読みください。

- 6 [OK] をクリックします。
[プリンタリスト] ウィンドウにお使いの機器が追加されます。

お使いのアプリケーションから、[プリント] コマンドを使って、お使いの機器を使用して印刷できます。

LPR 接続の場合

- 1 [プリンタリスト] ウィンドウの [IP] をクリックします。
- 2 [プロトコル] プルダウンメニューで [LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。
- 3 [アドレス] に、お使いの機器の IP アドレスを入力します。



- 4 [ドライバ] から [ソフトウェアを選択...] を選択します。
[プリンタソフトウェア] が表示されます。

- 表示されたドライバの一覧から、「FX Print Driver for Mac OS X v.xxx」を選択します。

補足

- 「xxx」は、バージョンを表します。

- [追加] をクリックします。
オプションの設定画面が表示されます。



- 機器にインストールされているオプションの設定をします。

参照

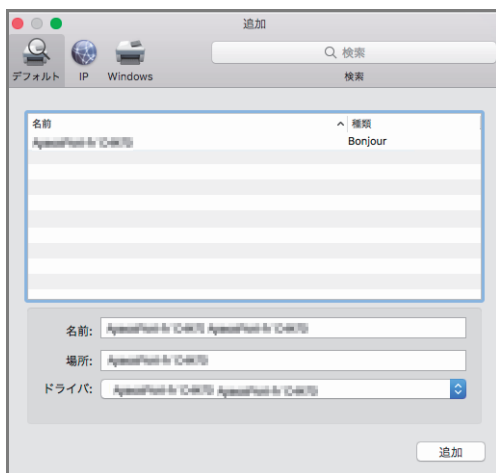
- オプションの設定の詳細は、本書「オプションの設定」(P.13)の「設定項目一覧」をお読みください。

- [OK] をクリックします。
[プリンタリスト] ウィンドウに、お使いの機器が追加されます。

お使いのアプリケーションから、[プリント] コマンドを使って本プリンターを使用して印刷できます。

BonJour 接続の場合

- [プリンタリスト] ウィンドウの [デフォルト] をクリックします。



- 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3 [ドライバ] から [ソフトウェアを選択 ...] を選択します。

[プリンタソフトウェア] が表示されます。

4 表示されたドライバの一覧から、「FX Print Driver for Mac OS X v.xxx」を選択します。

補足

- 「xxx」は、バージョンを表します。

5 [追加] をクリックします。

オプションの設定画面が表示されます。



6 お使いの機器にインストールされているオプションの設定をします。

参照

- オプションの設定の詳細は、本書「オプションの設定」(P.13)の「設定項目一覧」をお読みください。

7 [OK] をクリックします。

[プリンタリスト] ウィンドウにお使いの機器が追加されました。

お使いのアプリケーションから、[プリント] コマンドを使って、お使いの機器を使用して印刷できます。

オプションの設定

オプションを設定します。

- 1 [システム環境設定...]の[プリンタとスキャナ](OSにより異なります)を選択します。
[プリンタとスキャナ](OSにより異なります)ウィンドウが表示されます。
- 2 [オプションとサプライ...] ボタンをクリックします。
- 3 [オプション] タブを選択します。

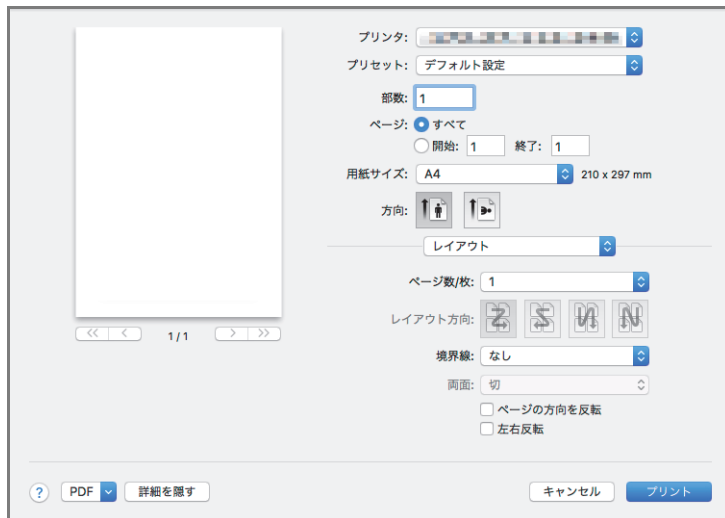


設定項目一覧

- [暗証番号の最小桁数]
蓄積用ユーザー ID、セキュリティープリントのユーザー ID の暗証番号に最低限必要な入力桁数を設定します。
暗証番号の最小桁数を 0 ~ 12 で設定できます。
初期値は、[0] です。
- [認証 / 集計時の入力項目]
機器の操作パネル上で認証するとき、[User ID と Account ID]、[User ID のみ]、[Account ID のみ] のいずれかを設定します。
初期値は、[User ID と Account ID] です。
- [用紙サイズをジョブチケットで指定する]
カスタム用紙サイズを設定して印刷したとき、設定したサイズと異なるサイズで出力された場合は、このチェックボックスをチェックして印刷してください。

印刷ウィンドウ

印刷の設定をします。



補足

- [プリンタ] には、お使いの機種名が表示されます。

設定項目一覧

■ [プリンタ]

出力先のプリンターを選択します。

■ [プリセット]

よく使う印刷設定を保存しておき、印刷時に適用できます。メニューから [現在の設定をプリセットとして保存 ...] を選択し、設定を保存します。選択して印刷すると、保存した印刷設定で印刷されます。

また、登録された内容の編集と削除もできます。

補足

- [デフォルト設定] を選択すると、各設定が初期値に戻ります。

■ [用紙サイズ]

使用する用紙サイズを設定します。

補足

- 定形サイズ以外の用紙に印刷する場合は、あらかじめ定形外サイズを登録しておく必要があります。登録した定形外サイズは、[用紙サイズ] で選択できるようになります。
- 定形外サイズは [カスタムサイズを管理 ...] で登録します。

参照

- 定形外サイズの登録方法は、「[カスタム用紙サイズ] ウィンドウ」(P.29) を参照してください。

■ [方向]

用紙の方向を設定します。

■ [標準印刷機能エリア]

印刷する部数や、ページ指定などの設定をします。



補足

- お使いのアプリケーションによって、表示される内容が異なります。

■ 項目の切り替え

印刷ウィンドウの項目を切り替えます。

切り替えられる項目は次のとおりです。

- 「[レイアウト] ウィンドウ」(P.16)
- 「[用紙処理] ウィンドウ」(P.17)
- 「[給紙] ウィンドウ」(P.18)
- 「[表紙] ウィンドウ」(P.18)
- 「[認証情報] ウィンドウ」(P.19)
- 「[プリント種類] ウィンドウ」(P.22)
- 「[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ」(P.24)

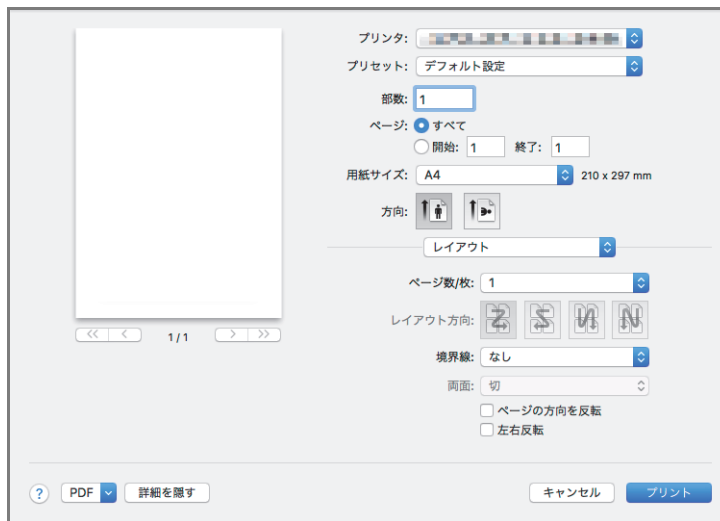
補足

- [プリント]ボタンをクリックしたときに[認証情報] / [プリント種類]ウィンドウの設定は保存されません。設定を保存するには、[プリセット]を使用してください。

[レイアウト] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.14) の項目の切り替えで、[レイアウト] を選択すると表示されます。

印刷する原稿のレイアウトの設定をします。



設定項目一覧

■ [ページ数 / 枚]

連続する 2、4、6、9、16 ページ分の原稿が、1 枚の用紙にまとめて印刷されます。変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

■ [レイアウト方向]

[ページ数 / 枚] を設定した場合、用紙に割り付ける順序を設定します。変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

■ [境界線]

[ページ数 / 枚] を設定した場合、枠線の設定をします。
[なし]、[極細線]、[細線]、[極細 2 本線]、[細 2 本線] から選択します。
変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

■ [両面]

両面印刷を設定します。

「長辺とじ」と「短辺とじ」から、とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。

長辺とじは、用紙の長辺、短辺とじは、用紙の短辺を軸に、おもてとうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。

印刷結果のイメージを確認するには、「印刷ウィンドウ」(P.14) の左下の [PDF] ボタンをクリックして、[プレビューで PDF を開く] をクリックしてください。

[用紙処理] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.14)の項目の切り替えで、[用紙処理]を選択すると表示されます。

ページの送り順や、印刷ページなどを設定します。



設定項目一覧

■ [丁合い]

チェックすると、複数ページからなるドキュメントを2部以上印刷する場合にページ順で1部ずつ印刷されます。

■ [プリントするページ]

両面印刷機能がない機器に両面印刷するかどうかを設定します。

両面に印刷しない場合は、[すべてのページ]を選択します。

両面に印刷する場合は、[奇数ページのみ]を選択して奇数ページを印刷した後、用紙を裏返してセットし直し、[偶数ページのみ]を選択して印刷します。



- とじ方についての詳細は、「[両面]」(P.16)をお読みください。

■ [ページの順序]

印刷するページの送り順を設定します。

[自動]、[通常]、[逆送り]から選択します。

[自動]を選択すると、最初のページから印刷されます。

[通常]を選択すると、最初のページから印刷されます。

[逆送り]を選択すると、最終ページから印刷されます。

■ [用紙サイズに合わせる]

チェックすると、[出力用紙サイズ]で設定した用紙サイズとは別に、実際に出力する用紙サイズを設定できるようにします。

■ [出力用紙サイズ]

[用紙サイズ]で設定した用紙サイズとは別に、実際に出力する用紙サイズを設定します。

[用紙サイズに合わせる]をチェックすると、[A3]、[A4]、[A5]、[JIS B4]、[JIS

B5]、[はがき]、[タブロイド]、[リーガル]、[レター] から、実際に出力するサイズを選択できます。

■ [縮小のみ]

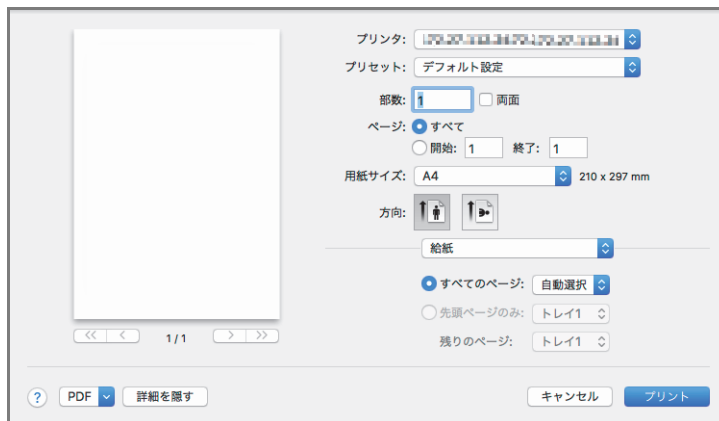
[用紙サイズ] で設定したサイズと異なる場合に、画像を拡大するかの設定をします。チェックを付けると、[用紙サイズ] で設定したサイズ of 原稿が、印刷されます。

チェックを外すと、出力用紙サイズにまで拡大した原稿が印刷されます。

[用紙サイズ] で設定したサイズより小さい場合は、指定した出力用紙サイズに縮小して印刷します。

[給紙] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.14) の項目の切り替えで、[給紙] を選択すると表示されます。



設定項目一覧

■ [すべてのページ]

給紙をするトレイを選択できます。

■ [先頭のページのみ / 残りのページ]

給紙をするトレイを選択できます。

[表紙] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.14) の項目の切り替えで、[表紙] を選択すると表示されます。表紙の設定をします。



設定項目一覧

■ [表紙をプリント]

印刷する原稿に表紙用の用紙を挿入して印刷します。
[なし]、[書類の前]、[書類の後] から選択します。

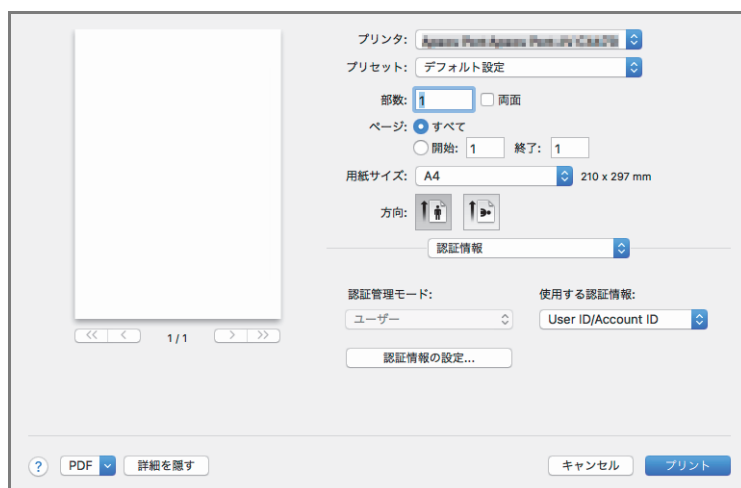
■ [表紙のタイプ]

表紙に印字される内容を設定します。
[標準]、[部外秘]、[未分類]、[社外秘]、[機密]、[最高機密] から選択します。
[表紙をプリント] で [書類の前]、または [書類の後] を選択すると設定できます。

[認証情報] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.14) の項目の切り替えで、[認証情報] を選択すると表示されます。

認証情報の詳細を設定します。



設定項目一覧

■ [認証管理モード]

認証に関する各種の設定について、各一般ユーザーが変更できるようにするかどうか、管理者が決めた設定をそのまま使用するかどうかを選択します。

[管理者] を選択すると、集計管理は管理者が設定したモードで動作し、ユーザーは変更できなくなります。プリンターアイコンごとに、異なる設定ができます。

[ユーザー] を選択すると、各ユーザーが、集計管理の設定を変更できるようになります。ユーザーごとに、異なる設定ができます。

補足

- 現在ログオンしているユーザーに、プリンターの設定へのアクセス権がない場合、この項目はグレー表示され、設定を変更できません。
- Mac OS X 10.7 以降の場合は、常に [ユーザー] が選択されます。

■ [使用する認証情報]

印刷を開始したときに、「認証情報の入力」ダイアログボックスで入力できる認証情報を設定します。

[User ID/Account ID]、[蓄積用ユーザー ID]、[すべて] から選択します。

[User ID/Account ID] を選択すると、認証用 User ID を入力できます。

[蓄積用ユーザー ID] を選択すると、蓄積用ユーザー ID を入力できます。

[すべて] を選択すると、認証用 User ID および蓄積用ユーザー ID を入力できます。

■ [認証情報の設定]

[認証情報の設定 ...] をクリックすると、[認証情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、プリントジョブの集計機能を利用するときのユーザーの設定ができます。

補足

- 現在ログオンしているユーザーに、プリンタードライバーの設定へのアクセス権がない場合、この項目はグレー表示され、設定が変更できません。

◆ [ドメイン名]

ドメイン名を指定します。ドメイン名の最大文字数は、半角英数文字で64文字です。

補足

- ドメイン名の指定は、ApeosPort-V / DocuCentre-V より前の機種では有効になりません。

◆ [User ID の指定]

User ID の指定方法を選択します。

User ID は、お使いの機器側でジョブの認証管理をするときや、プリントジョブを集計するときに使用されます。

[ログイン名を使用する]、[ID を入力する] から選択します。

[ログイン名を使用する] を選択すると、User ID として、Macintosh のログイン名が使用され編集できない状態になります。

[ID を入力する] を選択すると、User ID とパスワードが設定できます。

◆ [User ID]

[User ID] に、任意の User ID を入力します。User ID の最大文字数は、32文字です。User ID は、ジョブの認証管理をするときや、プリントジョブを集計するときに使

用されます。入力した User ID は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

補足

- [ID を入力する] から [ログイン名を使用する] に変更し、問題が生じた場合は [標準に戻す] ボタンをクリックしてください。

◆ [パスワード]

User ID に対するパスワードを入力します。4 ~ 12 文字の半角英数文字を入力します。入力したパスワードは、●で表示されます。

補足

- User ID とパスワードは、間違って入力すると印刷されません。
- User ID とパスワードは、お使いの機器の管理者に確認ください。

◆ [Account ID]

集計管理するための Account ID を入力します。
入力した Account ID は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。半角英数文字で 32 文字以内で入力します。

◆ [蓄積用ユーザー ID]

一般ユーザーが任意に課金管理の設定を変更できないように制限するために、蓄積用ユーザー ID を登録します。お使いの機器のジョブ確認をすると、保存文書内の認証プリントの ID 名として表示されます。
蓄積用ユーザー ID の最大文字数は、24 文字です。

補足

- [使用する認証情報] で、[蓄積用ユーザー ID]、もしくは [すべて] を選択した場合に設定できます。
- プリンターとしての集計管理機能を使用している場合に、[蓄積用ユーザー ID] を指定したジョブは、印刷されずに [認証プリント] に蓄積用ユーザー ID ごとに保存されます。

参照

- お使いの機器側での操作方法については、機器のマニュアルを参照してください。

◆ [暗証番号]

蓄積用ユーザー ID に対する暗証番号を入力します。半角数字で 12 文字以内で入力します。入力した番号は、●で表示されます。
空欄のまま [OK] ボタンをクリックすると、暗証番号なしの設定になります。

補足

- [使用する認証情報] で、[蓄積用ユーザー ID]、もしくは [すべて] を選択した場合に設定できます。

参照

- 暗証番号の最小桁数は、機器側の操作パネルで設定してください。設定方法については、機器のマニュアルを参照してください。

[プリント種類] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.14) の項目の切り替えで、[プリント種類] を選択すると表示されます。

プリントの種類を設定します。



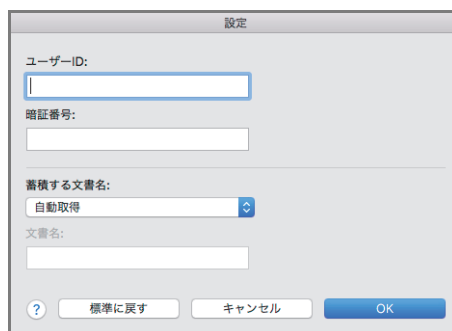
設定項目一覧

■ [プリント種類]

プリントの種類を、[通常プリント]、[セキュリティープリント]、[サンプルプリント]、[時刻指定プリント] から選択します。

- [通常プリント] は、[セキュリティープリント]、[サンプルプリント]、[時刻指定プリント] 以外の印刷には、こちらを選択します。
- [セキュリティープリント] は、印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、印刷したいときに機器側の指示で出力させる機能です。

◆ [セキュリティープリント] の場合の [設定] ダイアログボックス



[ユーザー ID]

セキュリティープリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID の最大文字数は、全角 12 文字、半角 24 文字です。

[暗証番号]

セキュリティープリントの [ユーザー ID] に対応する、暗証番号を入力します。半角数字で、12 文字以内で入力します。番号は●で表示されます。

補足

- 暗証番号を設定していない場合は、機器側で暗証番号を入力することなく出力できます。

参照

- 暗証番号の最小桁数は、「オプションの設定」(P.13) を参照してください。

[蓄積する文書名]

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。[自動取得] または、[文書名を入力する] から選択します。

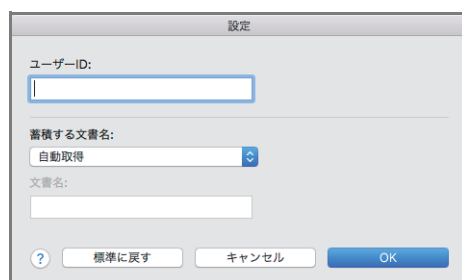
[自動取得] を選択すると、文書名は印刷指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 64 文字を超えた場合は、文書名の 65 文字目以降は削除されます。

[文書名]

[蓄積する文書名] で [文書名を入力する] を選択した場合、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、全角 32 文字、半角 64 文字です。

- [サンプルプリント] は、複数部数を印刷する際に、まず 1 部だけ印刷し、残りの部数は印刷結果を確認してから、機器側の指示で出力させる機能です。

◆ [サンプルプリント] の場合の [設定] ダイアログボックス



[ユーザー ID]

サンプルプリントで使用されるユーザー ID を入力します。ユーザー ID の最大文字数は、半角英数または半角カナで 24 文字です。

[蓄積する文書名]

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。[自動取得] または、[文書名を入力する] から選択します。

[自動取得] を選択すると、文書名は印刷指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角カナで 64 文字を超えた場合は、文書名の 65 文字目以降は削除されます。

[文書名]

[蓄積する文書名] で [文書名を入力する] を選択した場合、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 64 文字以内です。

- [時刻指定プリント] は、印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、指定時間に出力させる機能です。

◆ [時間指定プリント] の場合の [設定] ダイアログボックス



[印刷開始時刻]

印刷を開始する時刻を指定します。指定した時刻に電源が切っていた場合は、電源が入ってから印刷されます。指定できる時刻の範囲は、00:00 ~ 23:59 です。

[蓄積する文書名]

プリンターに保存する文書の名前を指定する方法を選択します。[自動取得] または、[文書名を入力する] から選択します。

[自動取得] を選択すると、文書名は印刷指示したアプリケーションから取得され、入力はできません。また、半角英数または半角力で 64 文字を超えた場合は、文書名の 65 文字目以降は削除されます。

[文書名]

[蓄積する文書名] で [文書名を入力する] を選択した場合、プリンターに保存される文書の名前を入力します。入力できる文字数は、半角英数または半角カナで 64 文字以内です。

[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.14) の項目の切り替えで、[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウを選択すると表示されます。

プリンターの各機能を設定します。



設定項目一覧

■ [機能セット]

プリンター機能の設定をします。

次の項目から選択します。

- [設定 1]
- [設定 2]
- [レイアウト]

選択した項目により、表示する内容が次のように異なります。

- 「[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ (設定 1)」(P.25)
- 「[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ (設定 2)」(P.26)
- 「[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ (レイアウト)」(P.27)

[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ (設定 1)

「[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ」(P.24) の「機能セット」で、「設定 1」を選択すると表示されます。

プリンターの各機能を設定します。



設定項目一覧

■ [用紙種類]

印刷する用紙の種類を、設定します。

[指定しない]、[普通紙]、[普通紙うら面]、[再生紙]、[厚紙] から選択します。
初期値は、[指定しない] です。

■ [カラーモード]

カラーモードを設定します。

[白黒]、[カラー] から選択します。

[白黒] を選択すると、原稿が白 / 黒以外の色が使われている場合でも、白黒原稿として印刷されます。

[カラー] を選択すると、原稿が白 / 黒の場合でも、カラー原稿として印刷されます。

■ [印刷モード]

印刷画質を設定します。

[標準]、[高速]、[高画質] から選択します。

[標準] では標準的な品質かつ速度で処理するバランス重視のモードで印刷されます。

[高速] では印刷品質は低いが高速な出力が可能なモードで印刷されます。

[高画質] では印刷品質を高める為に処理速度を犠牲にしたモードで印刷されます。

画質にこだわらず、速く印刷する場合は、[高速] を選択し、高画質で印刷する場合は [高画質] を選択します。

■ [ホチキス]

ホチキスをする位置を設定します。

[しない]、[左上1カ所]、[右上1カ所]、[右下1カ所]、[左下1カ所]、[左2ヶ所]、[上2ヶ所]、[右2ヶ所]、[下2ヶ所] から選択します。

初期値は、[しない] です。

■ [パンチ]

パンチをする位置を設定します。

[しない]、[左]、[上]、[右]、[下] から選択します。

初期値は、[しない] です。

■ [パンチ穴]

パンチ穴の数を設定します。

[2穴]、[3穴]、[4穴] から選択します。

初期値は、[2穴] です。

[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ (設定2)

「[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ」(P.24) の [機能セット] で、[設定2] を選択すると表示されます。

プリンターの各機能を設定します。



設定項目一覧

■ [イメージ変換出力]

原稿に忠実に印刷するかどうかを設定します。

[しない]、[する] から選択します。

初期値は、[しない] です。

補足

- [する] を選択すると、印刷速度が遅くなります。

■ [オフセット排出]

セットやジョブの単位を指定すると、指定した単位ごとに用紙の位置をずらして印刷できます。直前のジョブの排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出されます。

[しない]、[セットごとにずらす]、[ジョブごとにずらす] から選択します。

初期値は、[しない] です。

■ [おもて表紙]

おもて表紙をつけるかどうかを設定します。おもて表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを、[付けない]、[トレイ1]、[トレイ2]、[トレイ3]、[トレイ4]、[トレイ5 (手差し)] から選択します。

初期値は、[付けない] です。

■ [うら表紙]

うら表紙をつけるかどうかを設定します。うら表紙を付ける場合は、表紙に使用する用紙トレイを、[付けない]、[トレイ1]、[トレイ2]、[トレイ3]、[トレイ4]、[トレイ5 (手差し)] から選択します。

初期値は、[付けない] です。

[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ (レイアウト)

「[Fuji Xerox 詳細設定] ウィンドウ」(P.24) の [機能セット] で、[レイアウト] を選択すると表示されます。

製本に関する設定します。

The screenshot shows the 'Fuji Xerox 詳細設定' window with the 'レイアウト' (Layout) function set selected. The '製本' (Binding) setting is set to 'しない' (None). Other visible settings include 'プリンタ' (Printer), 'プリセット' (Preset), '部数' (Copies), 'ページ' (Pages), '用紙サイズ' (Paper Size), '方向' (Orientation), and '機能セット' (Function Set). The '製本の分冊' (Binding Sections) setting is also set to 'しない' (None). There is a checkbox for '中とじしろをつける' (Add center fold) and a '設定...' (Settings...) button next to it. At the bottom, there are buttons for '?', 'PDF', '詳細を隠す' (Hide details), 'キャンセル' (Cancel), and 'プリント' (Print).

設定項目一覧

■ [製本]

製本するときの面付けと後処理の方法を設定します。

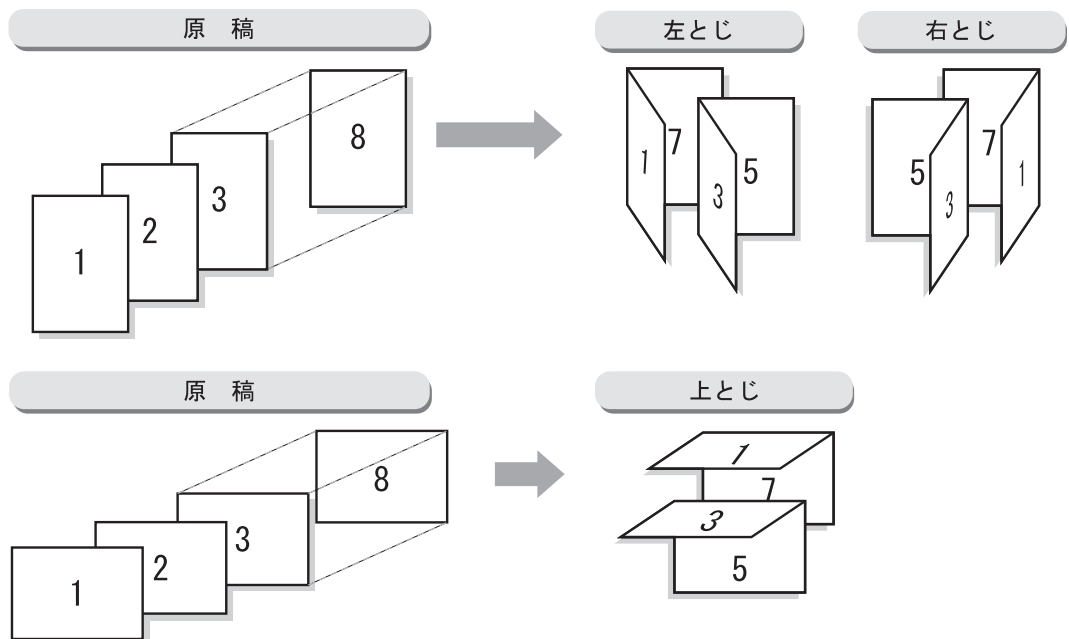
[しない]、[左とじ / 上とじ]、[右とじ / 下とじ]、[中とじホチキス (左とじ / 上とじ)]、[中とじホチキス (右とじ / 下とじ)]、[二つ折り (左とじ / 上とじ)]、[二つ折り (右とじ / 下とじ)] から選択します。

[左とじ / 上とじ]、[右とじ / 下とじ] を選択すると製本を行います。

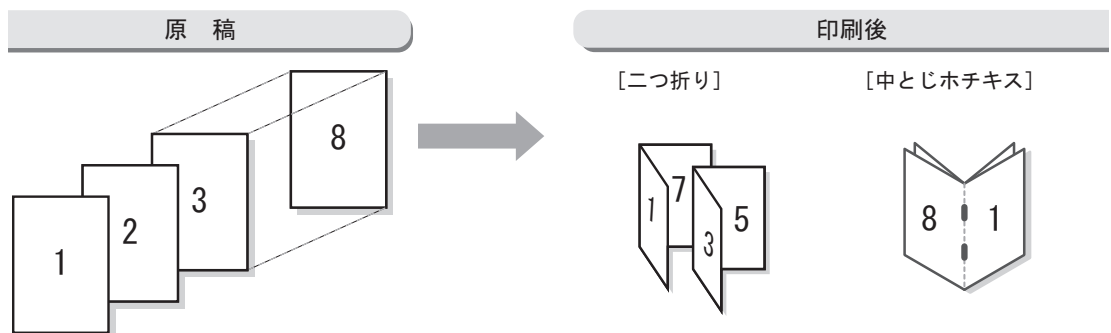
中とじホチキスを選択すると製本したあと、ホチキスで中とじを行い、製本トレイに排出します。

二つ折りを選択すると製本したあと、中折りを行い、製本トレイに排出します。

それぞれの設定で、8 ページの原稿がどのように製本されるかを説明します。



原稿イメージに対して、左とじして、中とじホチキスした場合の例です。



■ [製本の分冊]

分冊にして製本する場合の枚数を設定します。

[しない]、[1枚ごと] ~ [25枚ごと] から選択します。

初期値は、[しない] です。

■ [中とじしろをつける]

チェックすると、二つ折にしたとき、中とじ部分の印字がみえにくくなるのを防ぐために、用紙の中央に中とじしろを付けます。

[中とじしろをつける] をチェックして、[設定] をクリックすると、[中とじしろをつける] ウィンドウが表示されます。ここで中とじしろの幅を指定します。



ミリメートル指定の場合は、0 ~ 25 ミリの範囲で、1 ミリきざみに指定します。

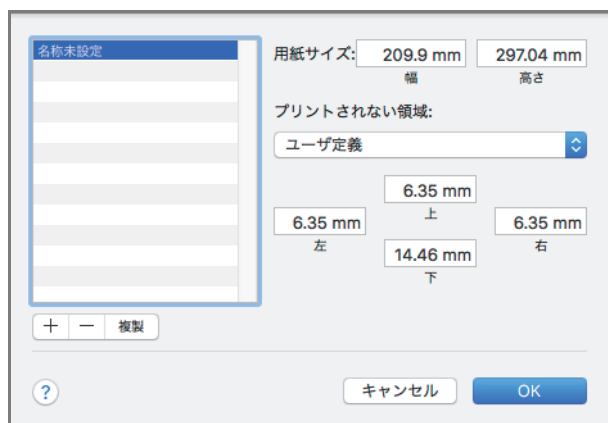
インチ指定の場合は、0.0 ~ 1.0 インチきざみに指定します。

指定した中とじしろは、それぞれのページの内側に付きます。

[カスタム用紙サイズ] ウィンドウ

[用紙サイズ] で、[カスタムサイズを管理 ...] を選択すると表示されます。

定形外サイズを、カスタム用紙サイズとして登録します。



補足

- 定形外サイズを設定した場合、印刷イメージを確認することをおすすめします。印刷イメージを確認するには、「印刷ウィンドウ」(P.14) の左下の [PDF] ボタンをクリックして、[プレビューでPDFを開く] をクリックしてください。
- 設定したサイズと異なるサイズで印刷された場合は、「[用紙サイズをジョブチケットで指定する]」(P.13) のチェックボックスをチェックして印刷してください。

設定項目一覧

■ [+]

新規のカスタム用紙サイズを登録します。

[+] をクリックし、[用紙サイズ]、[プリントされない領域] を設定すると、新規のカスタム用紙サイズを登録できます。登録されたカスタム用紙サイズは、[名称未設定] という名前で一覧に表示されます。[名称未設定] を選択し、クリックすると、名前を変更できます。

■ [-]

カスタム用紙サイズを削除します。

一覧で、カスタム用紙サイズを選択し、[-] をクリックすると、削除できます。

■ [複製]

カスタム用紙サイズを複製します。

一覧で、カスタム用紙サイズを選択し、[複製] をクリックすると、複製できます。複製されたカスタム用紙サイズは、[〈複製元のカスタム用紙サイズ名〉1] という名前で見覧に表示されます。(カスタム用紙サイズを 2 つ以上複製した場合、数字が連番で増えていきます。) 名前を選択し、クリックすると、変更できます。

■ [用紙サイズ]

カスタム用紙サイズの高さ、幅を指定します。

設定できる範囲は次のとおりです。

幅 9 ~ 31.9 cm
高さ 9.9 ~ 48.2 cm

■ [プリントされない領域]

余白を設定します。

[ユーザー定義]、〈プリンターのキュー名〉から選択します。(〈プリンターのキュー名〉は、お使いのプリンターによって変わります。)

[ユーザー定義] を選択すると、余白を設定できます。[上]、[下]、[左]、[右] の余白を指定します。

余白は、0.41 cm 以上を指定できます。

〈プリンターのキュー名〉を選択すると、プリンタードライバーにあらかじめ設定されているプリンターの余白が適用されます。

エラーメッセージ一覧

ここでは、印刷時に Macintosh 側に表示されるエラーメッセージについて説明します。エラーメッセージが表示される原因が同じでも、プリンターと Macintosh の接続方法によって、表示されるメッセージは異なります。

補足

- プリンターの操作パネルに表示されたメッセージについては、プリンターに付属のマニュアルを参照して、対処してください。

メッセージ	接続方法	状態 / 原因 / 処置
"Attempting to connect to host xxx.xxx.xxx.xxx for printer ***" (xxx.xxx.xxx.xxx には IP アドレス、*** にはプリンター名が表示されます。) と表示されたあと、しばらくして "Unable to connect to printer: Operation timed out"	LPR	プリンターの電源が切れているか、正しく接続されていません。プリンターの電源が入っていること、およびケーブルで正しく接続されていることを確認してください。 また、その他の何らかの原因で、プリンター側でデータを受信できない場合に、このメッセージが表示されます。プリンターの操作パネルにエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。
"Opening the print file and connection" と表示されたあと、"Printer not responding"	USB	
"will retry in 30 seconds..."	LPR	Macintosh から印刷を指示したあと、プリンターにデータを転送する前に、プリンターの電源が切れたか、接続が解除されました。プリンターの電源を入れてください。
"Spooling LPR job, xx% complete..." (xx は進捗状況を示す数値が表示されます。) と表示されたあと、しばらくして "will retry in 30 seconds..."	LPR	Macintosh から印刷を指示したあと、プリンターにデータを転送中、プリンターの電源が切れたか、接続が解除されました。プリンターの電源を入れてください。

2 ダイレクトファクスドライバー

お使いの機器にファクス機能が搭載されていない場合は、ダイレクトファクスドライバーはインストールできません。

ファクスドライバーのインストール

Macintosh 用ファクスドライバーをコンピューター (Macintosh) にインストールします。

同梱のメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) からインストールする手順を説明します。お使いの機種と読み替えて、お読みください。

注記

- Mac OS にファクスドライバーをインストールする場合は、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

- 1 [Software] > [MacFax] > [MacOSX] > [Common] ボリューム内にある [Fuji Xerox Direct Fax Driver Installer] アイコンをダブルクリックします。
- 2 インストーラーが表示されますので、画面の指示に従いインストールしてください。

ファクスの追加

[プリンタリスト] ウィンドウに、お使いの機器を追加します。

事前準備

- 1 お使いの機器の電源が入っていることを確認します。
USB 接続の場合は、USB ケーブルでコンピューター (Macintosh) とお使いの機器が正しく接続されていることも確認します。
- 2 [Apple] メニューから [システム環境設定 ...] を開き、[プリンタとスキャナ] (OS により異なります) を選択します。
[プリンタとスキャナ] (OS により異なります) ウィンドウが表示されます。
- 3 [プリンタとスキャナ] (OS により異なります) ウィンドウにある左下の [+] ボタンをクリックします。
[プリンタリスト] ウィンドウが表示されます。

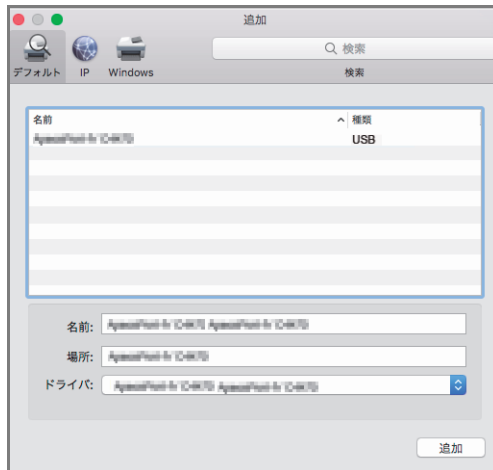
お使いの機器と Macintosh の接続の方法により、この後の手順は、次のように違います。

USB 接続の場合

補足

- USB ケーブルを接続して、お使いの機器の電源を入れると、自動でリストに、お使いの機器が追加されます。その場合、手動で削除し、以下の手順で、お使いの機器を追加してください。

- 1 [プリンタリスト] ウィンドウの [デフォルト] をクリックします。



- 2 [ドライバ] から [ソフトウェアを選択 ...] を選択します。
[プリンタソフトウェア] が表示されます。
- 3 表示されたドライバの一覧から、「FX Direct Fax Driver for Mac OS X v.xxx」を選択します。

補足

- 「xxx」は、バージョンを表します。

- 4 [追加] をクリックします。
オプションの設定画面が表示されます。



- 5 お使いの機器にインストールされているオプションの設定をします。

参照

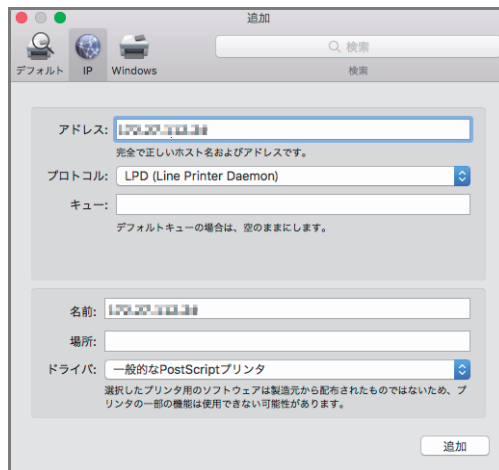
- オプションの設定の詳細は、本書「オプションの設定」(P.38)の「設定項目一覧」をお読みください。

- 6 [OK] をクリックします。
[プリンタリスト] ウィンドウにお使いの機器が追加されます。

お使いのアプリケーションから、[プリント] コマンドを使って、お使いの機器を使用してファクスできます。

LPR 接続の場合

- 1 [プリンタリスト] ウィンドウの [IP] をクリックします。
- 2 [プロトコル] プルダウンメニューで [LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。
- 3 [アドレス] に、お使いの機器の IP アドレスを入力します。



- 4 [ドライバ] から [ソフトウェアを選択...] を選択します。
[プリンタソフトウェア] が表示されます。
- 5 表示されたドライバの一覧から、「FX Direct Fax Driver for Mac OS X v.xxx」を選択します。

補足

- 「xxx」は、バージョンを表します。

- 6 [追加] をクリックします。
オプションの設定画面が表示されます。



7 機器にインストールされているオプションの設定をします。



- オプションの設定の詳細は、本書「オプションの設定」(P.38)の「設定項目一覧」をお読みください。

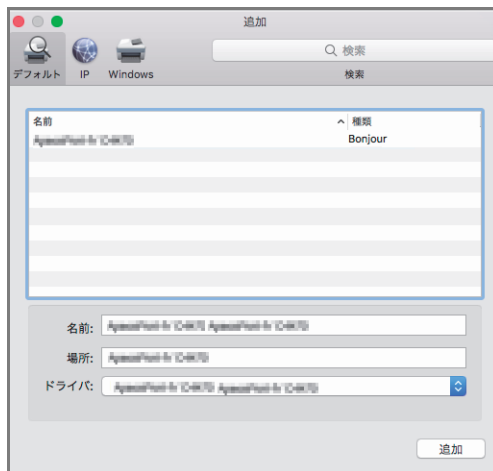
8 [OK] をクリックします。

[プリンタリスト] ウィンドウに、お使いの機器が追加されます。

お使いのアプリケーションから、[プリント] コマンドを使って本プリンターを使用してファクスできます。

Bonjour 接続の場合

1 [プリンタリスト] ウィンドウの [デフォルト] をクリックします。



2 一覧の中から、使用するプリンターを選択します。

3 [ドライバ] から [ソフトウェアを選択 ...] を選択します。

[プリンタソフトウェア] が表示されます。

4 表示されたドライバの一覧から、「FX Direct Fax Driver for Mac OS X v.xxx」を選択します。



- 「xxx」は、バージョンを表します。

- 5 [追加] をクリックします。
オプションの設定画面が表示されます。



- 6 お使いの機器にインストールされているオプションの設定をします。



- オプションの設定の詳細は、本書「オプションの設定」(P.38)の「設定項目一覧」をお読みください。

- 7 [OK] をクリックします。
[プリンタリスト] ウィンドウにお使いの機器が追加されます。

お使いのアプリケーションから、[プリント] コマンドを使って、お使いの機器を使用してファクスできます。

オプションの設定

オプションを設定します。

- 1 [システム環境設定...]の[プリンタとスキャナ](OSにより異なります)を選択します。
[プリンタとスキャナ](OSにより異なります)ウィンドウが表示されます。
- 2 [オプションとサプライ...] ボタンをクリックします。
- 3 [オプション] タブを選択します。



設定項目一覧

■ [認証 / 集計時の入力項目]

機器の操作パネル上で認証するときに、[User ID と Account ID]、[User ID のみ]、[Account ID のみ] のいずれかを設定します。

初期値は、[User ID と Account ID] です。

■ [ファクス宛先の再入力]

ファクス送信するときに、確認のために再度宛先番号を入力するかどうかを設定します。

[しない]、[する] から設定します。

初期値は、[しない] です。

■ [宛先の指定方法]

ファクス送信するときの宛先指定元の制限を設定します。

[標準]、[短縮番号のみ]、[宛先表参照のみ] から設定します。

初期値は、[標準] です。

■ [同報送信を制限する]

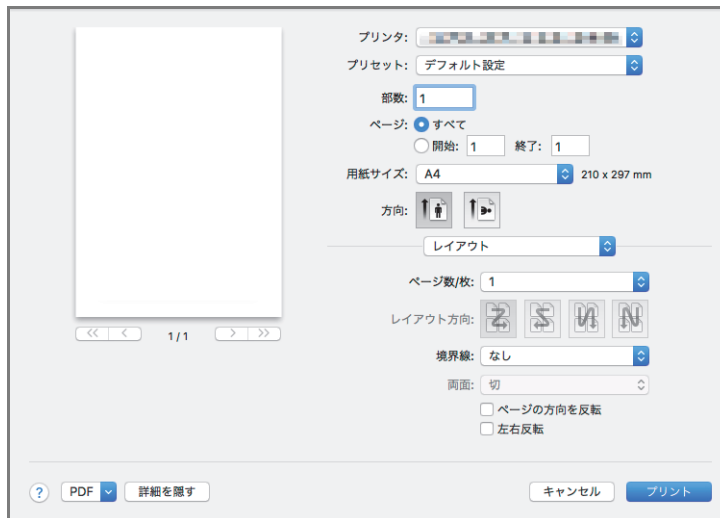
送信するときに、1回の送信で同じ内容を同時に複数の宛先に送信するかどうかを設定します。

[しない]、[する] から設定します。

初期値は、[しない] です。

印刷ウィンドウ

印刷の設定をします。



補足

- [プリンタ] には、お使いの機種名が表示されます。

設定項目一覧

■ [プリンタ]

出力先のプリンターを選択します。

■ [プリセット]

よく使う印刷設定を保存しておき、印刷時に適用できます。メニューから [現在の設定をプリセットとして保存 ...] を選択し、設定を保存します。選択して印刷すると、保存した印刷設定で印刷されます。

また、登録された内容の編集と削除もできます。

補足

- [デフォルト設定] を選択すると、各設定が初期値に戻ります。

■ [標準印刷機能エリア]

レイアウトや、ファクス関連などの設定をします。



補足

- お使いのアプリケーションによって、表示される内容が異なります。

■ 項目の切り替え



印刷ウィンドウの項目を切り替えます。
切り替えられる項目は次のとおりです。

- 「[レイアウト] ウィンドウ」(P.41)
- 「[用紙処理] ウィンドウ」(P.42)
- 「[表紙] ウィンドウ」(P.44)
- 「[ファクス構成] ウィンドウ」(P.45)
- 「[ファクス設定] ウィンドウ」(P.46)
- 「[認証情報] ウィンドウ」(P.47)

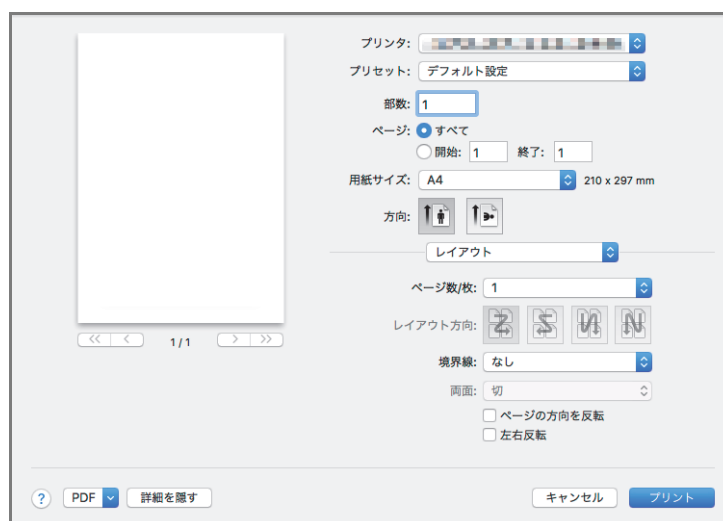
補足

- [プリント]ボタンをクリックしたときに[認証情報] / [ファクス設定]ウィンドウの設定は保存されません。設定を保存するには、[プリセット]を使用してください。

[レイアウト] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.40)の項目の切り替えで、[レイアウト]を選択すると表示されます。

印刷する原稿のレイアウトの設定をします。



設定項目一覧

■ [ページ数 / 枚]

連続する 2、4、6、9、16 ページ分の原稿が、1 枚の用紙にまとめて印刷されます。
変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

■ [レイアウト方向]

[ページ数 / 枚] を設定した場合、用紙に割り付ける順序を設定します。
変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

■ [境界線]

[ページ数 / 枚] を設定した場合、枠線の設定をします。
[なし]、[極細線]、[細線]、[極細 2 本線]、[細 2 本線] から選択します。
変更の結果は、左側のイメージで確認できます。

■ [両面]

この機能はサポートしていないため、設定できません。

[用紙処理] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.40) の項目の切り替えで、[用紙処理] を選択すると表示されます。

ページの送り順や、印刷ページなどを設定します。



設定項目一覧

■ [丁合い]

チェックすると、複数ページからなるドキュメントを 2 部以上印刷する場合にページ順で 1 部ずつ印刷されます。

注記

• この機能はサポートしていません。[部数] で 2 部以上指定しても 1 部としてファクス送信されます。

■ [プリントするページ]

両面に印刷するかどうかを設定します。

両面に印刷しない場合は、[すべてのページ] を選択します。

■ [ページの順序]

印刷するページの送り順を設定します。

[自動]、[通常]、[逆送り] から選択します。

[自動] を選択すると、最初のページから印刷されます。

[通常] を選択すると、最初のページから印刷されます。

[逆送り] を選択すると、最終ページから印刷されます。

■ [用紙サイズに合わせる]

チェックすると、[出力用紙サイズ] で設定した用紙サイズとは別に、実際に出力する用紙サイズを設定できるようにします。

■ [出力用紙サイズ]

[用紙サイズ] で設定した用紙サイズとは別に、実際に出力する用紙サイズを設定します。

[用紙サイズに合わせる] をチェックすると、[A3]、[A4]、[A5]、[JIS B4]、[JIS B5]、[タブロイド]、[リーガル]、[レター] から、実際に出力するサイズを選択できます。

■ [縮小のみ]

[用紙サイズ] で設定したサイズと異なる場合に、画像を拡大するかを設定をします。

チェックを付けると、[用紙サイズ] で設定したサイズ of 原稿が、印刷されます。

チェックを外すと、出力用紙サイズにまで拡大した原稿が印刷されます。

[用紙サイズ] で設定したサイズより小さい場合は、指定した出力用紙サイズに縮小して印刷します。

[表紙] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.40) の項目の切り替えで、[表紙] を選択すると表示されます。表紙の設定をします。



設定項目一覧

■ [表紙をプリント]

印刷する原稿に表紙用の用紙を挿入して印刷します。
[なし]、[書類の前]、[書類の後] から選択します。

■ [表紙のタイプ]

表紙に印字される内容を設定します。
[標準]、[部外秘]、[未分類]、[社外秘]、[機密]、[最高機密] から選択します。
[表紙をプリント] で [書類の前]、または [書類の後] を選択すると設定できます。

[ファクス構成] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.40) の項目の切り替えで、[ファクス構成] を選択すると表示されます。

機器に装着されているオプション構成を、ファクスドライバーに認識させるための設定をします。

設定項目一覧

■ [ファクスモジュール]

装着されているファクスキットを選択します。

[ファクスキット] は、ファクスキットを装着している場合に選択します。

[ファクスキット 2/3] は、ファクスキット 2/3 を装着している場合に選択します。

[IP ファクス (SIP) キット] は、IP ファクス (SIP) キットが装着されている場合に選択します。

[IP ファクス (SIP) キットとファクスキット 2/3] は、IP ファクス (SIP) キットとファクスキット 2/3 を装着している場合に選択します。

■ [ISDN / G4 キット]

ISDN / G4 キットを装着している場合に [あり] を選択します。

■ [外線 / 内線切り替えキット]

外線 / 内線切り替えキットを装着している場合に [あり] を選択します。

■ [宛先表拡張]

宛先表拡張が導入されている場合に [あり] を選択します。

■ [外線の発信番号]

外線発信番号がある場合は、5 文字以内で入力します。

■ [内線の発信番号]

内線発信番号がある場合は、5 文字以内で入力します。

■ [外線のとき]

外線のときに使用するポートを選択します。

[内線ポート] を選択すると、内線ポートを使用します。

[外線ポート] を選択すると、外線ポートを使用します。

■ [内線のとき]

内線のときに使用するポートを選択します。

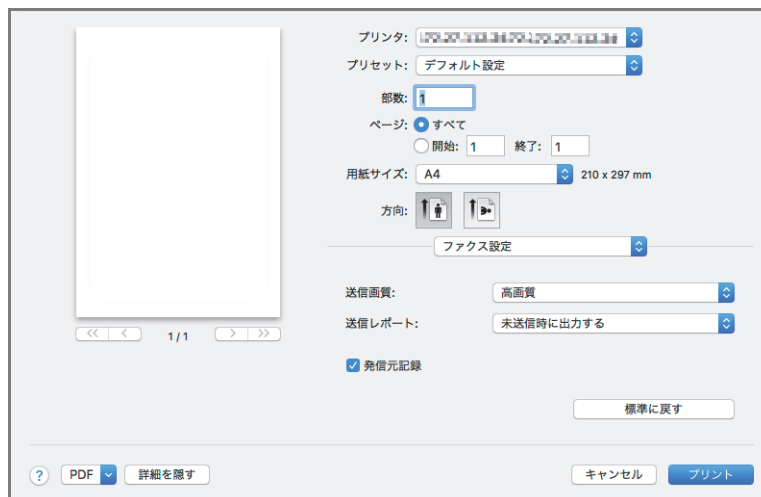
[内線ポート] を選択すると、内線ポートを使用します。

[外線ポート] を選択すると、外線ポートを使用します。

[ファクス設定] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.40) の項目の切り替えで、[ファクス設定] を選択すると表示されます。

ファクス送信するときのを設定します。



■ [送信画質]

送信するときの解像度を設定します。

[標準]、[高画質]、[超高画質 (400 x 400 dpi)] または [超高画質 (600 x 600dpi)] のどれかを選択します。

■ [送信レポート]

送信レポートを自動で出力するかしないか、どのように出力するかを設定します。

[常に出力する]、[未送信時に出力する] または [出力しない] のどれかを選択します。

■ [発信元記録]

発信元記録とは、相手先に送信する文書に、ファクス本体に設定されている発信元の内容 (発信元名、送信日時、自局 ID、枚数) を付ける機能です。いつでもどこから送信された文書なのかが相手先で、確認しやすくなります。

発信元記録を付ける場合は、チェックボックスをチェックします。

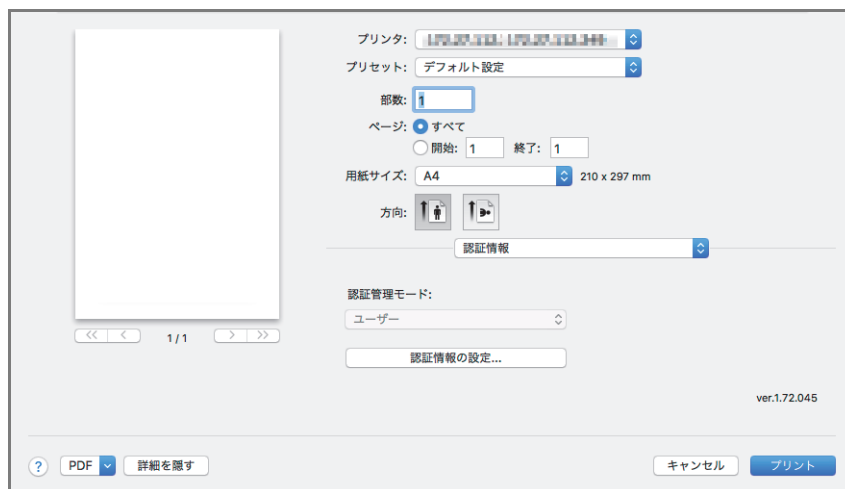
■ [標準に戻す] ボタン

[ファクス設定] ダイアログボックスで変更した内容をすべて取り消し、標準値に戻ります。

[認証情報] ウィンドウ

「印刷ウィンドウ」(P.40)の項目の切り替えで、[認証情報]を選択すると表示されます。

認証情報の詳細を設定します。



設定項目一覧

■ [認証管理モード]

認証に関する各種の設定について、各一般ユーザーが変更できるようにするかどうか、管理者が決めた設定をそのまま使用するかどうかを選択します。

[管理者]を選択すると、集計管理は管理者が設定したモードで動作し、ユーザーは変更できなくなります。プリンターアイコンごとに、異なる設定ができます。

[ユーザー]を選択すると、各ユーザーが、集計管理の設定を変更できるようになります。ユーザーごとに、異なる設定ができます。

補足

- 現在ログオンしているユーザーに、プリンターの設定へのアクセス権がない場合、この項目はグレー表示され、設定を変更できません。
- 常に [ユーザー] が選択されます。

■ [認証情報の設定]

[認証情報の設定 ...] をクリックすると、[認証情報の設定] ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、プリントジョブの集計機能を利用するときのユーザーの設定ができます。

補足

- 現在ログオンしているユーザーに、プリンタードライバーの設定へのアクセス権がない場合、この項目はグレー表示され、設定が変更できません。

◆ [常に同じ認証情報を使用する]

選択すると、プリントするときのユーザー名には、次に設定する認証情報が使用されます。

◆ [ドメイン名]

ドメイン名を指定します。ドメイン名の最大文字数は、半角英数文字で64文字です。

補足

- ドメイン名の指定は、ApeosPort-V / DocuCentre-V より前の機種では有効になりません。

◆ [User ID の指定]

User ID の指定方法を選択します。

User ID は、お使いの機器側でジョブの認証管理をするときや、プリントジョブを集計するとき使用されます。

[ログイン名を使用する]、[ID を入力する] から選択します。

[ログイン名を使用する] を選択すると、User ID として、Macintosh のログイン名が使用され編集できない状態になります。

[ID を入力する] を選択すると、User ID とパスワードが設定できます。

◆ [User ID]

[User ID] に、任意の User ID を入力します。User ID の最大文字数は、半角で 32 文字（全角で 16 文字）です。

User ID は、ジョブの認証管理をするときや、プリントジョブを集計するとき使用されます。入力した User ID は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

補足

- [ID を入力する] から [ログイン名を使用する] に変更し、問題が生じた場合は [標準に戻す] ボタンをクリックしてください。

◆ [パスワード]

User ID に対するパスワードを入力します。4 ～ 12 文字の半角英数文字を入力します。入力したパスワードは、●で表示されます。

補足

- User ID とパスワードは、間違って入力すると印刷されません。
- User ID とパスワードは、お使いの機器の管理者に確認ください。

◆ [Account ID]

集計管理するための Account ID を入力します。
入力した Account ID は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。半角英数文字で 32 文字以内で入力します。

◆ [ジョブごとに認証の入力画面を表示する]

選択すると、ファクス送信を開始するときに [認証情報の入力] ダイアログボックスが表示されます。ID やパスワードなどを入力して送信を開始します。

◆ [前回入力した情報を表示する]

チェックすると、[認証情報の入力] ダイアログボックスの設定画面に、前回設定したユーザーの認証情報が表示されます。

◆ [User ID とドメイン名の入力文字を隠す]

チェックすると、[認証情報の入力] ダイアログボックスの設定画面で、入力した User ID とドメイン名がドット (・) で表示されます。

◆ [Account ID の入力文字を隠す]

チェックすると、[認証情報の入力] ダイアログボックスの設定画面で、入力した Account ID がドット (・) で表示されます。

ファクス送信時のウィンドウ

[ファクス送信] ウィンドウ

ファクスドライバーを選択した状態で [プリント] ボタンをクリックした場合に表示されます。

ファクス送信時の宛先を設定します。

■ [名前]

送信する相手先の名前を、半角で 40 文字（全角で 20 文字）以内で入力します。

■ [宛先番号]

宛先の番号を入力します。[宛先種別] で選択した内容によって、入力する内容が異なります。

[宛先種別] で [ファクス] を指定した場合は、送信先のファクス番号を、半角英数字で 100 文字以内で入力します。半角文字の ([) と (]) は入力できません。

[宛先種別] で [短縮] を指定した場合は、短縮番号を 3 文字以内（ファクスキットの時）、または 4 文字以内（ファクスキット 2 の時）で入力します。ワイルドカード (*) を使うと、短縮登録された複数の宛先を指定できます。

[宛先種別] で [IP ファクス (SIP)] を指定した場合は、送信先の IP ファクスアドレスを、半角英数字で 128 文字以内で入力します。

■ [宛先種別]

ファクスを送信するときの宛先種別を指定します。

ファクス番号を使って送信する場合は、[ファクス] を指定します。

短縮番号を使って送信する場合は、[短縮] を指定します。

IP ファクスアドレスを使って送信する場合は、[IP ファクス (SIP)] を指定します。

■ [追加] ボタン

名前や宛先番号を「宛先の一覧」に追加します。

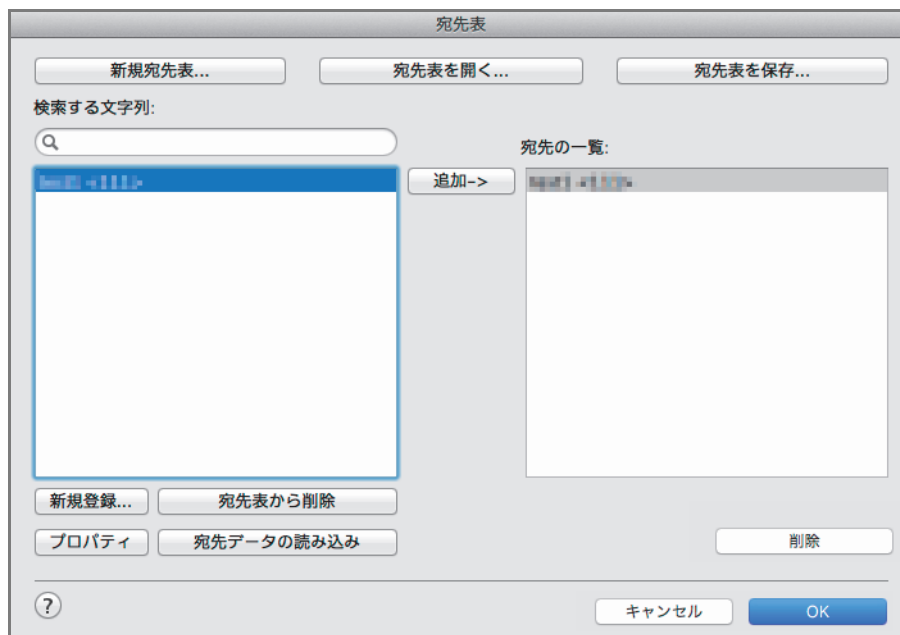
■ 宛先表

現在使用している宛先表のファイル名が表示されています。

- [宛先表を参照 ...] ボタン
クリックすると、「[宛先表] ウィンドウ」(P.51) が表示されます。
- 宛先の一覧
送信先として追加した宛先が表示されます。複数の送信先を追加すると、同時に、複数の相手に送信できます。
- [宛先情報] ボタン
クリックすると、選択した送信先の [宛先情報] ウィンドウが表示されます。
送信先の登録情報を確認、修正します。
- [通信設定 ...] ボタン
クリックすると、選択した送信先の [通信設定] ウィンドウが表示されます。
送信先に応じた通信設定を確認、修正します。
- [削除] ボタン
クリックすると、選択した送信先を [宛先の一覧] リストボックスから削除します。
- [宛先表に追加] ボタン
クリックすると、選択した送信先を、現在使用している宛先表に追加します。

[宛先表] ウィンドウ

「[ファクス送信] ウィンドウ」(P.50) で、[宛先表を参照 ...] ボタンがクリックされた場合に表示されます。
宛先表を設定します。



- [新規宛先表 ...] ボタン
クリックすると、[新規宛先表 ...] ウィンドウが表示されます。新たに作成する宛先表ファイルのファイル名と保存場所を指定します。
宛先表を作成すると、そのまま現在使用する宛先表として登録されます。

■ [宛先表を開く ...] ボタン

宛先表ファイルを開きます。クリックして、新たに開く宛先表ファイルを指定してください。宛先表の内容は、(宛先表のデータ一覧) に表示されます。

■ [宛先表を保存 ...] ボタン

編集した宛先表ファイルを保存します。クリックして、ファイル名と保存場所を指定してください。

■ [検索する文字列]

現在使用している宛先表から検索したい語句を入力します。検索結果は、(宛先表のデータ一覧) に表示されます。

■ (宛先表のデータ一覧)

宛先表に登録されている宛名の一覧が表示されます。[検索する文字列] を使用した場合、検索結果が表示されます。

■ [新規登録 ...] ボタン

宛先表に新しい宛先を登録します。クリックすると、[新規登録] ウィンドウが表示されます。[個人データ] または [グループ] のどちらかを選択し [OK] をクリックすると、[個人データの新規登録] ウィンドウまたは [グループの新規登録] ウィンドウが表示されます。

■ [宛先表から削除] ボタン

クリックすると、宛先表で選択されている宛先が削除されます。

■ [プロパティ] ボタン

クリックすると、宛先表で選択されている宛先の登録内容が表示されます。

■ [宛先データの読み込み] ボタン

現在の宛先表に、別の宛先データを追加します。

クリックすると、[ファクス宛先データの読み込み] ウィンドウが表示されます。

■ [追加] ボタン

クリックすると、(宛先表のデータ一覧) から選択した宛先を、[宛先の一覧] リストボックスに送信先として追加します。

■ [宛先の一覧]

送信先として、追加した宛先が表示されます。

複数の送信先を追加すると、同時に、複数の相手に送信できます。

■ [削除] ボタン

クリックすると、[宛先の一覧] で選択されている宛先が削除されます。

[宛先情報] ウィンドウ

「[ファクス送信] ウィンドウ」(P.50) で、[宛先情報] ボタンがクリックされた場合に表示されます。

宛先の情報が表示され、それぞれの項目を編集することができます。

■ [宛先種別]

ファクスを送信するときの宛先種別を指定します。

ファクス番号を使って送信する場合は、[ファクス] を指定します。

短縮番号を使って送信する場合は、[短縮] を指定します。

IP ファクスアドレスを使って送信する場合は、[IP ファクス (SIP)] を指定します。

■ [名前]

送信する相手先の名前を、半角で 40 文字 (全角で 20 文字) 以内で入力します。

■ [所属]

送信する相手先の所属を半角で 59 文字 (全角で約 29 文字) 以内で入力します。

■ [番号 / アドレス]

[宛先種別] で [ファクス] を指定した場合は、送信先のファクス番号を、半角英数字で 100 文字以内で入力します。半角文字の ([]) と () は入力できません。

[宛先種別] で [短縮] を指定した場合は、短縮番号を 3 文字、または 4 文字以内で入力します。ワイルドカード (*) を使うと、短縮登録された複数の宛先を指定できます。

[宛先種別] で [IP ファクス (SIP)] を指定した場合は、送信先の IP ファクスアドレスを、半角英数字で 128 文字以内で入力します。

■ [電話番号]

電話番号を、半角で 46 文字 (全角で 23 文字) 以内で入力します。

■ [電子メール]

電子メールを、半角で 256 文字以内で入力します。

■ [メモ]

メモを、半角で 254 文字 (全角で 127 文字) 以内で入力します。

[通信設定] ウィンドウ

「[ファクス送信] ウィンドウ」(P.50) や「[個人データの新規登録] ウィンドウ」(P.55) で、[通信設定 ...] ボタンがクリックされた場合に表示されます。

[通信モード]、[親展通信 / 中継同報]、および [F コード] を設定します。

■ [通信モード]

相手機の機能に応じて通信モードを選択します。

通信モードは回線に応じて順次送信速度を落とします。通信開始時の速度は次のとおりです。

[G3 自動] …33.6 kbps、[国際通信] …4.8 kbps、[G4 自動] …64 kbps

通常は [G3 自動] を選択します。雑音が多いときや、電話回線の状態が悪いときには、[国際通信] を選択します。

- [外線 / 内線]
[外線] または [内線] のどちらかを選択します。
- [親展通信 / 中継同報]
親展通信 / 中継同報の設定をします。
- [指定しない]
親展通信 / 中継同報の設定をしない場合、ラジオボタンを選択します。
- [親展通信 (通信相手局への蓄積)]
相手先のボックスに原稿を送信するときに、ラジオボタンを選択します。あらかじめ、相手先のボックス番号を確認してください。暗証番号を入力しなくても送信できます。
- [ボックス番号 [1 ~ 999]]
相手先のボックス番号を入力します。あらかじめ相手先に確認してください。
- [暗証番号 [数字 4 桁]]
相手先の暗証番号を入力します。あらかじめ相手先に確認してください。
- [中継同報]
中継同報をするときにラジオボタンを選択します。
あらかじめ中継局に登録されている中継局 ID と、送信先の短縮番号またはグループ番号を確認してください。
- [中継局 ID [1 ~ 99]]
中継局に登録されている自局 (お使いの機器) の短縮登録番号 (1 ~ 99) を入力します。あらかじめ中継局を確認してください。
- [中継局への出力]
中継局にも送信原稿を、出力するかしないかを指定します。
- [グループへの同報]
[同報宛先の短縮番号] で指定された ID が、グループ ID か個人 ID かを指定します。
チェックした状態で [追加] ボタンをクリックすると、グループ ID として [同報宛先の一覧] に追加されます。
チェックしない状態で [追加] ボタンをクリックすると、個人 ID として [同報宛先の一覧] に追加されます。
- [同報宛先の短縮番号 [1 ~ 99] / [1 ~ 9]]
中継局に登録されている送信先の短縮番号 (個人 ID は 1 ~ 99、グループ ID は 1 ~ 9) を入力します。短縮番号の間には、カンマ (,) を入れてください。20 件まで入力できます。また、ワイルドカード (*) を使用した指定やグループ指定もできます。送信先の短縮番号を中継局に確認してください。
- [追加] ボタン
[同報宛先の短縮番号] に入力された短縮番号を、[同報宛先の一覧] に追加します。
- [削除] ボタン
[同報宛先の一覧] で選択されている短縮番号を削除します。

■ [同報宛先の一覧]

送信先の短縮番号が表示されます。

■ [F コード [最大 20 桁]]

あらかじめ相手先に確認した相手先の F コードを、半角数字で 20 文字以内で入力します。アルファベットは入力できません。半角スペースと、記号の (*) と (#) は入力できません。

■ [パスワード [最大 20 桁]]

F コードに対するパスワードを、半角数字で 20 文字以内で入力します。アルファベットは入力できません。半角スペースと、記号の (*) と (#) は入力できます。

入力したパスワードは、(*) で表示されます。

[個人データの新規登録] ウィンドウ

「[宛先表] ウィンドウ」(P.51) で、[新規登録] ボタンをクリックして表示される [新規登録] ウィンドウで [個人データ] を選択したときに表示されます。

個人データの登録や修正ができます。

■ [宛先種別]

ファクスを送信するときの宛先種別を指定します。

ファクス番号を使って送信する場合は、[ファクス] を指定します。

IP ファクスアドレスを使って送信する場合は、[IP ファクス (SIP)] を指定します。

■ [名前]

送信する相手先の名前を、半角で 40 文字 (全角で 20 文字) 以内で入力します。

■ [所属]

送信する相手先の所属を半角で 59 文字 (全角で約 29 文字) 以内で入力します。

■ [宛先番号 / アドレス]

[宛先種別] で [ファクス] を指定した場合は、送信先のファクス番号を、半角英数字で 100 文字以内で入力します。半角文字の ([]) と () は入力できません。

[宛先種別] で [IP ファクス (SIP)] を指定した場合は、送信先の IP ファクスアドレスを、半角英数字で 128 文字以内で入力します。

■ [通信設定 ...] ボタン

通信設定を行う 「[通信設定] ウィンドウ」(P.53) が表示されます。

■ [電話番号]

電話番号を、半角で 46 文字 (全角で 23 文字) 以内で入力します。

■ [電子メール]

電子メールを、半角で 256 文字以内で入力します。

■ [メモ]

メモを、半角で 254 文字 (全角で 127 文字) 以内で入力します。

[グループの新規登録] ウィンドウ

「[宛先表] ウィンドウ」(P.51) で [プロパティ] ボタンをクリックしたときや、[新規登録] ボタンをクリックして表示される [新規登録] ウィンドウで [グループ] を選択したときに表示されます。

グループデータの登録や修正ができます。

■ [グループ名]

作成するグループ名を入力します。グループ名は、半角で 40 文字（全角で 20 文字）以内で入力します。

■ [検索する文字列]

宛先表から検索したい語句を入力します。検索結果は、「宛先表のデータ一覧」に表示されます。

■ (宛名表のデータ一覧)

宛先表に登録されている宛名の一覧が表示されます。[検索する文字列] を使用した場合、検索結果が表示されます。

■ [プロパティ] ボタン

クリックすると、宛先表で選択されている宛先の登録内容が表示されます。

個人データの場合は、[個人データの編集] ウィンドウが表示されます。

グループデータの場合は、[グループのデータ] ウィンドウが表示されます。

■ [追加] ボタン

クリックすると、(宛先表のデータの一覧) から選択した宛先を、[メンバー] リストボックスに登録します。

■ [メンバー]

グループに追加された宛先が表示されます。

■ [削除] ボタン

クリックすると、[メンバー] リストボックスで選択されている宛先が削除されます。

[ファクス宛先データの読み込み] ウィンドウ

「[宛先表] ウィンドウ」(P.51) で [宛先データの読み込み] ボタンをクリックすると表示されます。

新たに追加する宛先データの種類を選択します。

■ [ファクス宛先データの種類]

宛先データの種類を選択します。

選択後に [OK] ボタンをクリックするとダイアログボックスが表示されるので、宛先データを選択してください。

■ [Internet Services 宛先表 CSV ファイル]

Internet Services 宛先表 CSV ファイルは、お使いの機器の宛先表データを Centroware Internet Services を使って取り出した CSV ファイルです。なお、宛先表ツールは、ファクスのデータだけ取り込みます。

■ [PC ファクス宛先表]

DocuPrint C1190 FS で使用されている形式のアドレスブックです。拡張子は「fad」です。

[ファクス宛先の再入力] ウィンドウ

ファクスドライバの設定で、[ファクス宛先の再入力] で [する] を選択している場合に表示されます。

[ファクス送信] ダイアログボックスで [追加] ボタンをクリックしたときに、確認のために再度宛先番号を入力します。

[宛先の指定方法] が [短縮番号のみ] の場合は、[短縮番号]、[短縮番号の再入力] と表示されます。

■ [宛先番号] ([短縮番号])

「[ファクス送信] ウィンドウ」(P.50) で入力した宛先番号 (短縮番号) が表示されま

■ [宛先番号の再入力] ([短縮番号の再入力])

宛先番号 (短縮番号) を再入力します。

[認証情報の入力] ウィンドウ

[認証情報の設定] ウィンドウで、[ジョブごとに認証の入力画面を表示する] が選択されている場合に表示されます。

補足

- [プリセット] に認証情報を保存した場合のみ表示されます。

■ [ドメイン名]

ドメイン名を入力します。ドメイン名の最大文字数は、半角英数文字で 64 文字です。
[認証情報の設定] ダイアログボックスで [User ID とドメイン名の入力文字を隠す] にチェックマークを付けて指定すると、入力したドメイン名はドット (・) で表示されます。

補足

- ドメイン名の指定は、ApeosPort-V / DocuCentre-V より前の機種では有効になりません。

■ [User ID]

User ID (ジョブオーナー名) を入力します。User ID は、半角英数字で 32 文字以内で入力します。

User ID は、ジョブの認証管理をするときや、プリントジョブを集計するときに使用されます。

入力した User ID は、ユーザーごとにプリンターアイコンに対して登録されます。

■ [パスワード]

User ID (ジョブオーナー名) に対応するパスワードを、半角英数字で 4 ~ 12 文字の範囲で入力します。

入力したパスワードは、ドット (・) で表示されます。

パスワード無しの User ID の場合は、空欄にします。

■ [Account ID]

集計管理するための Account ID を入力します。半角英数字で 32 文字以内で入力します。

[ファクス送信先の確認] ウィンドウ

「[ファクス送信] ウィンドウ」(P.50) で [OK] をクリックすると表示されます。

正しい送信先になっているか、時刻指定送信にするかを確認し、ファクスを送信します。

■ [以下の宛先をファクス送信先として選択しています]

選択されたファクスの送信先が表示されています。送信先に誤りがないかご確認ください。

■ [時刻を指定して送信する]

時刻指定送信を行う場合は、チェックボックスをチェックし、送信時刻を指定します。

■ [時刻 (時:分)]

送信時刻を指定します。

3 PostScript® ドライバー

本機を PostScript® プリンターとして使用するには、オプションの PostScript® ソフトウェアキットが必要です。

設定項目はお使いの機種によって異なります。

同梱品の確認と設置

PostScript® ソフトウェアキットの同梱品と設置については、PostScript® ソフトウェアキットに同梱されているマニュアルを参照してください。

お使いの機種によっては、マニュアルが同梱されていないことがあります。その場合は、弊社カスタマーエンジニアが同梱品の確認と設置を行います。

書体の表示について

PostScript® ドライバーの、プリンター名の末尾に表示される文字列は、PostScript® ソフトウェアキットに入っている書体を表します。お使いの PostScript® ソフトウェアキットに合わせて選んでください。

- ××××× PS J2: モリサワ 2 書体
- ××××× PS J5: モリサワ 5 書体
- ××××× PS H2: 平成 2 書体
- ××××× PS H3: 平成 3 書体

補足

- ××××× には、プリンター名が入ります。
- お使いの機種によって、利用できる書体は異なります。
- お使いの PostScript® ソフトウェアキットの書体は、機能設定リスト、またはプリンター設定リストで確認できます。

プリンター側の設定

PostScript® ソフトウェアキットを装着すると、PostScript® に関する設定項目が追加されます。追加される項目は、お使いの機種によって異なります。詳しくは、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。

PPD ファイルのインストールとプリンターの追加

Macintosh に PPD ファイルをインストールし、プリンターを追加する方法について説明します。

PPD ファイルのインストール

PostScript® プリント記述 (PPD) ファイルを Macintosh にインストールします。

最新の PPD ファイルをインストールしたい場合は、弊社公式サイトからダウンロードしてください。なお、通信費用はおお客様の負担となりますので、ご了承ください。ダウンロードページのアドレスは、次のとおりです。

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

補足

- お使いの OS によって、表示される画面の内容が異なる場合があります。

- 1 Macintosh を起動します。
- 2 付属のメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) を利用する場合は、次の手順でフォルダーを表示します。
弊社公式サイトからダウンロードした PPD ファイルを利用する場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
 - 1) 付属のメディア (ソフトウェア / 製品マニュアル) を、CD-ROM ドライブにセットします。
 - 2) CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
 - 3) [Software] > [MacPS] > [MacOSX] > [Common] フォルダーを開きます。
- 3 [Fuji Xerox PS Plug-in Installer] のプログラムアイコンをダブルクリックします。
- 4 インストーラーが表示されますので、画面の指示に従いインストールしてください。

プリンターの追加

PPD ファイルのインストールが終了したら、PostScript® ドライバーに PPD ファイルを設定し、プリンターを追加します。

PostScript® ドライバーは、PPD ファイルの中にある情報をもとに、プリンターの機能をコントロールします。

補足

- お使いの OS によって、表示される画面の内容が異なる場合があります。

- 1 プリンターのポートの設定を確認します。

補足

- 詳しくは、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。

■ IP を使用する場合

[LPD] を起動します。

補足

- IP ネットワーク上のプリンターを自動的に検出できます。ディスカバリー機能を有効にした場合は、[Bonjour] を起動してください。

■ USB を使用する場合

[USB] を起動します。

参照

- プリンター側の設定については、プリンターに同梱されているマニュアルを参照してください。また、お使いの機種によっては、プリントモード指定が不要な場合があります。

- 2 USB を使用する場合は、Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続します。
- 3 [システム環境設定 ...] を起動します。
- 4 [ハードウェア] の、[プリンタとスキャナ] をクリックします。
- 5 USB を使用する場合は、次の手順を行ってください。IP を使用する場合は、手順 6 に進みます。
 - 1) 自動でプリンターが追加されているので、[種類] を確認します。
機種と搭載している PostScript® 和文フォントに合った PPD ファイル名が表示されている場合は、プリンターの追加は完了です。
適切な PPD ファイル名でない場合は、2) に進みます。
 - 2) プリンターを選び、[-] をクリックしてプリンターを削除し、手順 6 に進みます。



- 6 [プリンタとスキャナ] ウィンドウにある左下の [+] ボタンをクリックします。
[プリンタリスト] ウィンドウが表示されます。
- 7 プリンターと接続するためのプロトコルを選びます。

■ IP を使用する場合

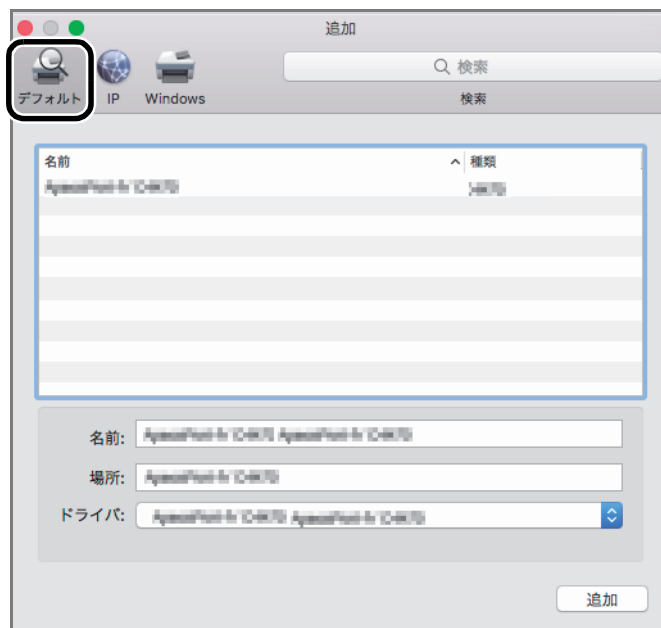
- 1) メニューから [IP] を選びます。



- 2) [プロトコル] から、[LPD (Line Printer Daemon)] を選びます。
- 3) [アドレス] に、使用するプリンターの IP アドレスを入力します。
- 4) [ドライバ] から、[プリンタソフトウェアを選択] を選びます。
- 5) 機種と搭載している PostScript® 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選び、[OK] をクリックします。
お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。
- 6) [追加] をクリックします。

■ USB、または Bonjour を使用する場合

- 1) メニューから [デフォルト] を選びます。



- 2) 一覧の中から、使用するプリンターを選びます。
- 3) [ドライバ] から、[ソフトウェアを選択 ...] を選びます。
- 4) 機種と搭載している PostScript® 和文フォントに合わせて PPD ファイルを選び、
[OK] をクリックします。
お使いのプリンター用の PPD ファイルが設定されます。
- 5) [追加] をクリックします。

8 オプションを設定します。



- オプションについては、「プリンターオプションの設定」(P.65) を参照してください。

プリンターオプションの設定

Macintosh の PostScript® ドライバーで、オプションを設定する方法と、設定項目について説明します。

正しくプリントするために、ここでの設定は、必ず正しい内容にする必要があります。

- 1 [システム環境設定...] の [プリンタとスキャナ] でプリンター名を選び、[オプションとサプライ] をクリックします。

補足

- お使いの OS によって、項目の名称が異なります。

- 2 [ドライバ] を選び、プリンターに装着されているオプションを選びます。

参照

- 設定項目については、「設定項目」(P.65) を参照してください。

補足

- オプションは設定できますが、設定したオプションに関する機能とほかの機能との不整合に関する処理は働きません。

設定項目

設定できる項目は次のとおりです。

補足

- お使いの機種によって、表示される項目は異なります。

[排出オプション]

排出オプションが装着されている場合に、排出オプションの種類を設定します。

[サイドトレイ]

サイドトレイが装着されている場合にチェックマークを付けます。

[給紙トレイ構成]

給紙トレイの構成を設定します。

[大容量給紙トレイ]

大容量給紙トレイが装着されている場合に、大容量給紙トレイの構成、種類を設定します。

[内蔵ハードディスク]

ハードディスクが装着されている場合に設定します。

[RAM ディスク]

RAM ディスクが装着されている場合に設定します。

[フィニッシャー]

フィニッシャーが装着されている場合に、フィニッシャーの種類を設定します。

[製本トレイ]

製本トレイが装着されている場合に、製本トレイの種類を設定します。

[スタッカー]

スタッカーが装着されている場合にチェックマークを付けます。

[サイズ表示の切り替え]

国、地域別に使用する用紙サイズのグループを選びます。

補足

- 日本では、[AB 系] が標準で設定されています。

[八開 / 十六開のサイズ切り替え]

八開 / 十六開用紙のサイズを切り替えます。

[暗証番号の最小桁数]

蓄積用ユーザー ID、セキュリティプリントで設定する、暗証番号の最小桁数を設定します。

[認証 / 集計時の入力項目]

認証管理、および集計管理をする場合に、使用する ID を選びます。

[メモリー]

装着されているメモリーの容量を選びます。

補足

- お使いの機種によって、メモリーの容量は固定の場合があります。

[くるみ製本機]

くるみ製本機が装着されている場合にチェックマークを付けます。

PostScript® ドライバーの設定

Macintosh の、PostScript® ドライバーの設定について説明します。

補足

- ここでは、[Fuji Xerox 詳細設定] での設定について説明しています。[認証情報] や [プリント種類] の設定については、PostScript® ドライバーのヘルプを参照してください。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューから、[プリント] を選びます。
- 2 [Fuji Xerox 詳細設定] を選びます。

補足

- [Fuji Xerox 詳細設定] が表示されていない場合は、画面の詳細を表示させてください。
- お使いの機種によって、画面に表示される項目は異なります。



- 3 [機能セット] を選びます。
- 4 選択肢の中から設定したい機能を選びます。

設定項目

設定できる項目は次のとおりです。

補足

- お使いの機種によって、表示される項目は異なります。

[用紙種類]

手差しトレイから給紙する用紙の種類を設定します。[指定しない] を選ぶと、プリンター側の設定が使用されます。

[用紙色]

プリントに使用する用紙の色を設定します。

[排出先]

排出先を設定します。通常は、設定した機能に合わせて、自動的に排出先が切り替わります。

排出先を自動的に切り替える場合は、[自動選択] を選びます。

[ホチキス]

ホチキスを留める位置を設定します。

なお、用紙は [オフセット排出]、および [部単位で印刷] の設定に関係なく、オフセット排出されます。

[パンチ]

用紙にパンチ穴をあける場所を設定します。

パンチ穴は、排出される用紙の向きに対してあけられます。そのため、画像の向きによっては、正しい位置にパンチ穴があけられないことがあります。

[パンチ穴]

用紙にパンチ穴をあける数を設定します。

[紙折り]

紙の折り方を設定します。

[角背仕上げ]

二つ折りにした用紙の背を平らにして、膨らみをなくします。角背仕上げをする場合は、強度を設定します。

[トレイ T1 インデックス紙指定]

トレイ T1 (合紙 / 表紙) から給紙する場合の、用紙の種類を選びます。

[仕切り合紙]

複数ページの原稿を、複数の部数でソートしないでプリントする場合、ページの変わり目に仕切り用の合紙を挿入できます。

仕切り合紙を挿入する場合は、仕切り合紙の給紙トレイを設定します。

[ダブルプリント]

原稿サイズより大きい用紙サイズに、1つのページを2回繰り返して印刷します。ダブルプリントをする場合は、チェックマークを付けます。

注記

- くるみ製本と同時に設定しないでください。同時に設定した場合、サイズ混在エラーとなり、プリントできません。

[サイズ混在文書を印刷する]

両面プリントで、長辺をとじる用紙サイズと、短辺をとじる用紙サイズを混在してプリントする場合は、チェックマークを付けてください。

注記

- くるみ製本と同時に設定した場合、印刷指示は無効になりプリントできません。

[排出面指定]

排出面と印刷するページの順番を組み合わせて、特定の排出方法を設定します。

[ユーザー定義用紙向き修正]

ユーザー定義用紙にプリントするときに、用紙の向きを 90° 回転してプリントする場合は、チェックマークを付けてください。

[手差し用紙の給紙方向]

用紙トレイ 5 (手差し) を使用してプリントするときの、用紙のセット方向を設定します。用紙トレイ 5 (手差し) に用紙の長辺をあわせてセットする場合は [たて置き優先]、用紙の短辺をあわせてセットする場合は [よこ置き優先] となります。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合は、ここの設定は無効になり、用紙をセットした方向でプリントされます。

[白紙節約]

白紙ページを含む文書をプリントするときに、白紙ページをプリントしない場合は、チェックマークを付けてください。

注記

- 白紙節約により本文が 10 枚未満になる場合、くるみ製本の最小枚数を下回るため、くるみ製本ができません。その場合は白紙節約の指定を解除してください。

[用紙の置き換え]

用紙トレイで [自動選択] を選んだ場合に、プリントするサイズ of 用紙がプリンターにセットされていないときの動作を設定します。

[グレー保証]

無彩色を黒一色で印刷する場合は、チェックマークを付けてください。ただし、イメージ部分には適用されません。チェックマークを外すと、無彩色が黒一色で印刷されません。

[カラープロファイルの無効化]

カラープロファイルを無効にする場合は、チェックマークを付けてください。

[Image Enhancement]

プリント全面のエッジ部を滑らかにプリントします。Image Enhancement を設定する場合は、チェックマークを付けてください。

なお、粗い網点で構成されたイメージ (ビットマップ) をプリントすると、滑らかな階調再現ができない場合があります。

補足

- この機能の設定によって、プリント速度に変化はありません。

[トナー節約]

プリントするときのトナーの消費量を少なくし、トナーを節約できます。全体的に色が薄くなるので、画質にこだわらないドラフト原稿などをプリントするときに設定します。

トナーを節約する場合は、[トナー節約] から節約量を選択してください。

■ [トナー削減量 [0 ~ 99%]]

[トナー節約] で [ユーザー設定] を選択すると、節約量を 0 ~ 99 の範囲で入力できます。最大値の 99 に設定すると、最も薄くプリントされます。

補足

- 入力した数値は、[トナー節約] で [ユーザー設定] 以外を選択すると無効になります。

[白抜け防止]

文字などの黒い領域に隣接する部分に、トナー色の色ずれによる白抜けが発生するのを防ぎます。白抜けを防止する場合は、チェックマークを付けてください。

[シャープネス調整]

画像の輪郭を強調し、よりシャープな画像として出力します。

シャープな画像にしたい場合は、その強さを設定します。

[CID フォント]

プリンター側での、CID フォントと OCF フォントの扱いについて設定します。

CID フォントだけを扱う場合はチェックマークを付け、CID フォントと OCF フォント両方を扱う場合はチェックマークを外してください。

[表紙 / 合紙] - [おもて表紙]

おもて表紙を付ける場合に、おもて表紙の給紙トレイを設定します。

[表紙 / 合紙] - [うら表紙]

うら表紙を付ける場合に、うら表紙の給紙トレイを設定します。

[表紙 / 合紙] - [合紙]

合紙を付ける場合に、合紙の給紙トレイを設定します。

注記

- くるみ製本の本文に合紙を付ける場合、合紙の用紙は、本文で設定した用紙と同じサイズにしてください。異なる用紙サイズを設定してプリントを指示すると、プリンターのタッチパネルディスプレイに、正しい用紙をセットするよう、メッセージが表示されます。

■ [設定] ボタン

[設定] ボタンをクリックすると、[付ける位置を指定] ダイアログボックスが表示されます。

[付ける位置] で、合紙を挿入する位置をページ数で設定します。

合紙は、設定したページの前に挿入されます。

[表紙 / 合紙] - [表紙 / 合紙の用紙種類]

表紙、または合紙を付ける場合の、用紙の種類を設定します。

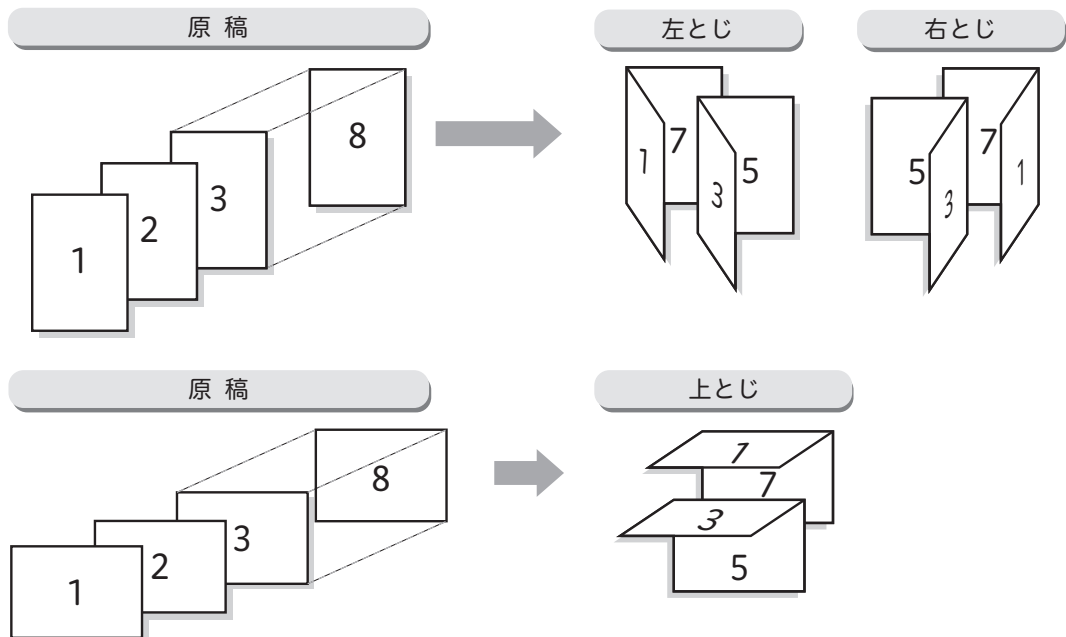
[プリンターの設定を用いる] を選ぶと、プリンター側の設定が使用されます。

[レイアウト] - [製本]

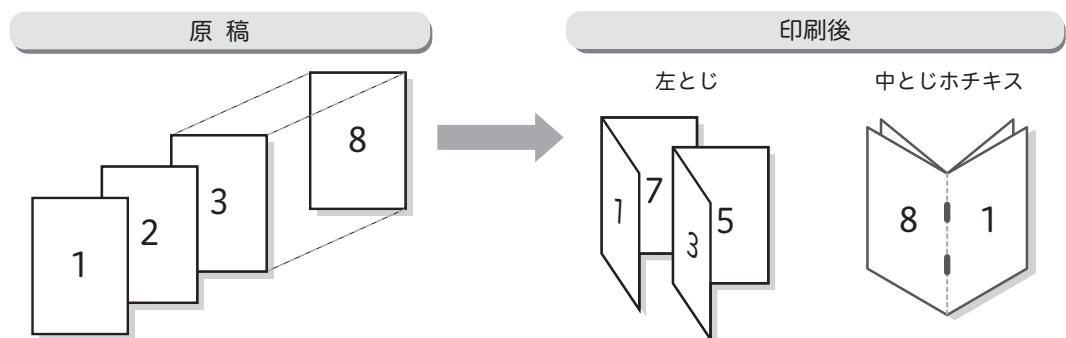
製本するときの面付けと後処理の方法を設定します。

次に、製本時にどのようにプリントされるかを示します。

原稿イメージに対し、左とじ、右とじ、上とじして、二つ折りした場合の例です。



原稿イメージに対し、左とじして、中とじホチキスした場合の例です。



[レイアウト] - [製本の出力用紙サイズ]

製本をするときの出力サイズを設定します。

補足

- 製本する場合に、トレイの給紙方法から選べるのは [自動選択] だけです。あらかじめ給紙方法から [自動選択] 以外を選んでいる場合、製本は設定できません。

[レイアウト] - [製本の分冊]

分冊にして製本する場合の枚数を設定します。

[レイアウト] - [製本の枠線]

製本した原稿の各ページに、枠線を付ける場合は、チェックマークを付けてください。

[レイアウト] - [中とじしろをつける]

中とじで、二つ折りにしたときに、中とじ部分の印字が見えにくくなるのを防ぐため、用紙の中央にとじしろを付けます。中とじしろを付ける場合は、チェックマークを付けてください。

■[設定] ボタン

[中とじしろをつける] にチェックマークを付けて、[設定] ボタンをクリックすると、[中とじしろをつける] ダイアログボックスが表示されます。

[自動縮小する]、[とじしろ幅] を設定できます。

[OHP 合紙] - [OHP 合紙用トレイ選択]

OHP 合紙機能を使用する場合、合紙の給紙トレイを設定します。

[自動] を選ぶと、プリンター側で設定されている給紙トレイが使用されます。

[OHP 合紙] - [OHP 合紙のプリント]

OHP 合紙機能を使用する場合、合紙にプリントせずに白紙として挿入するか、または OHP フィルムにプリントする内容と同じ内容を合紙にプリントして挿入するかを設定します。

[OHP 合紙] - [OHP 合紙の用紙種類]

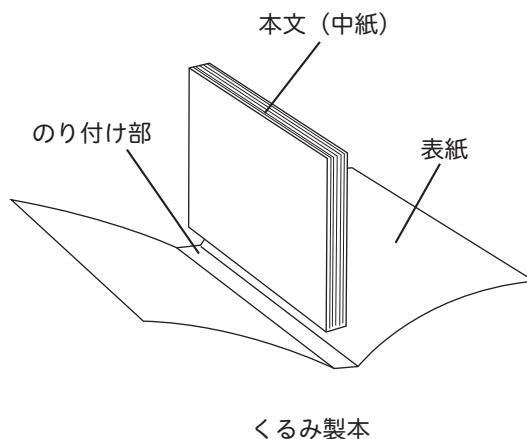
OHP 合紙機能を使用する場合、合紙の用紙種類を設定します。

[プリンターの設定を用いる] を選ぶと、プリンター側で設定されている用紙種類が使用されます。

[くるみ製本 1] - [くるみ製本とじ方向]

くるみ製本のとじ方を設定します。

くるみ製本とは、出力した本文（中紙）の背の部分にのりを付けて、表紙でくるみ、冊子にする製本方法です。



注記

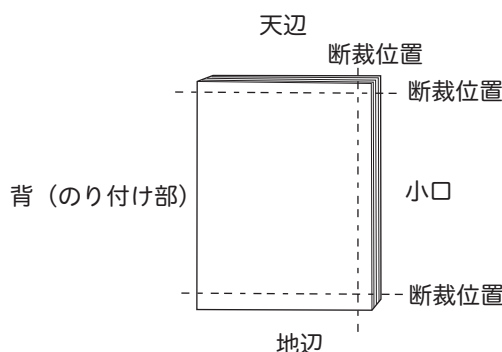
- この機能では、くるみ製本の本文（中紙）だけにプリントします。表紙にもプリントした冊子を作成する場合は、次の手順でプリントしてください。
 - 表紙だけをプリントします。
 - プリントした表紙を、用紙トレイにセットします。
 - くるみ製本の設定をして、本文をプリントします。このとき、[くるみ製本表紙の給紙トレイ]で、表紙をセットしたトレイを選んでください。
- 表紙をプリントする場合、背表紙の内側の、のり付けする領域には、プリントしないでください。この領域にプリントすると、のり付けの強度が落ちる場合があります。
- 本文としてプリントできる枚数は、10～200枚です。範囲を超える場合は、プリントできません。用紙種類によっては、200枚以下でもプリントできない場合があります。
- 本文（中紙）の、のり付けする辺は断裁できません。そのため、背景に模様などがある原稿をページ全面にプリントして断裁する場合、のり付け部分周辺にはプリントされていない部分が残ります。

[くるみ製本 1] - [くるみ製本断裁方法]

二つ折りされた用紙の上下の辺、背と反対側の端面（小口）を断裁する方法を設定します。

補足

- 背とは、用紙をとじる辺のことです。



冊子断裁（三方断裁）

[くるみ製本 1] - [くるみ製本仕上がりサイズ]

冊子の仕上がりサイズを設定します。

[くるみ製本 1] - [くるみ製本断裁幅（天地方向）]

冊子の上下の辺を断裁するときの幅を調整します。

[くるみ製本 1] - [くるみ製本断裁幅（小口方向）]

背と反対側の端面（小口）を断裁するときの幅を調整します。

[くるみ製本 1] - [くるみ製本本文の用紙サイズ]

本文（中紙）に使用する用紙サイズを設定します。

設定できる用紙のサイズは、仕上がりサイズや表紙のサイズによって異なります。

[くるみ製本 2] - [くるみ製本表紙の用紙サイズ]

くるみ製本の表紙に使用する用紙のサイズを設定します。

設定できる用紙のサイズは、本文の用紙サイズや仕上がりサイズによって異なります。

[くるみ製本 2] - [くるみ製本表紙の用紙種類]

くるみ製本の表紙に使用する用紙種類を設定します。
設定できる用紙種類は、表紙の用紙サイズによって異なります。
各用紙トレイの用紙種類は、プリンター側で設定します。

[くるみ製本 2] - [くるみ製本表紙の用紙色]

くるみ製本の表紙に使用する用紙色を設定します。
各用紙トレイの用紙色は、プリンター側で設定します。

補足

- [自動] を選んだ場合は、プリンター側の色設定は無視され、用紙サイズまたは設定したトレイ番号の用紙から給紙されます。[その他] は、プリンター側で任意の色 [その他] の色として設定している場合に使用できます。
- [くるみ製本表紙の給紙トレイ] を [自動] に設定すると、ここで設定した色の用紙がセットされている用紙トレイを、プリンター側が自動的に選択します。

[くるみ製本 2] - [くるみ製本表紙の給紙トレイ]

くるみ製本の表紙に使用する給紙トレイを選びます。

[くるみ製本 2] - [くるみ製本断裁角度調整 (天辺)]

冊子の上の辺を断裁するときの角度を調整します。

[くるみ製本 2] - [くるみ製本断裁角度調整 (地辺)]

冊子の下の辺を断裁するときの角度を調整します。

[くるみ製本 3] - [くるみ製本断裁角度調整 (小口)]

冊子の背と反対側の端面 (小口) を断裁するときの角度を調整します。

[くるみ製本 3] - [くるみ製本仕上がり調整 (天地方向)]

冊子を断裁する天地方向の位置を調整します。

[くるみ製本 3] - [くるみ製本仕上がり調整 (小口方向)]

冊子を断裁する小口方向の位置を調整します。

[くるみ製本 3] - [くるみ製本断裁位置調整 (天地方向)]

冊子を断裁する天地方向の位置を調整します。

[くるみ製本 3] - [くるみ製本表紙位置調整 (横方向)]

表紙の位置を横方向に調整します。

[くるみ製本 3] - [くるみ製本表紙位置調整 (縦方向)]

表紙の位置を縦方向に調整します。

[グラフィックス] - [印刷モード]

プリントするときの画質を設定します。

[グラフィックス] - [ハーフトーン]

プリントする原稿の特徴に合わせて、イメージを描画する網点の細かさを調整します。

[グラフィックス] - [ハーフトーン (文字)]

プリント時に文字を描画する網点の細かさを調整します。

[グラフィックス] - [ハーフトーン (図 / 表 / グラフ)]

プリント時に図、表、またはグラフを描画する網点の細かさを調整します。

[グラフィックス] - [ハーフトーン (写真)]

プリント時に写真を描画する網点の細かさを調整します。

[グラフィックス] - [トーンバランスを調整する]

トーンバランスを調整する場合に、チェックマークを付けます。

[グラフィックス] - [明るさ調整]

色の明暗の度合いを調整します。

[グラフィックス] - [白抜き文字の強調 / 黒文字の細線化]

白抜き文字を強調し、黒文字を細線化することで、文字を読みやすくプリントします。
文字を読みやすく調整する場合は、その強さを設定します。

[カラーバランス K] - [低濃度 (K)]、[中濃度 (K)]、[高濃度 (K)]

色の低濃度域、中濃度域、高濃度域のトナーの濃度を調整します。

[詳細設定] - [インデックス紙プリント]

インデックス紙のタブに、文字などをプリントする場合は、チェックマークを付けます。

■ [設定] ボタン

[インデックス紙プリント] にチェックマークを付けて [設定] ボタンをクリックすると、[インデックス紙プリント] ダイアログボックスが表示され、タブにプリントする位置を設定できます。設定したタブの位置まで移動してプリントされます。

[詳細設定] - [1 組の枚数]

用紙種類にインデックス紙を設定している場合、タブ数を設定します。

タブ数を設定する場合は、チェックマークを付けてください。

■ [設定] ボタン

[1 組の枚数] にチェックマークを付けて [設定] ボタンをクリックすると、[1 組の枚数] ダイアログボックスが表示され、タブ数を設定できます。設定したタブ数でプリントされます。

[詳細設定] - [オフセット排出]

設定した単位で、位置をずらして用紙を排出します。オフセット排出をする場合は、どの単位で用紙の位置をずらすかを設定します。

■ [設定] ボタン

[ページ数を指定してずらす] を選び、[設定] ボタンをクリックすると、[ページ数を指定してずらす] ダイアログボックスが表示され、[ページ数] を設定できます。

[部数を指定してずらす] を選び、[設定] ボタンをクリックすると、[部数を指定してずらす] ダイアログボックスが表示され、[部数] を設定できます。

[詳細設定] - [断裁]

用紙を断裁する場合に、チェックマークを付けます。

■ **[設定] ボタン**

[断裁] にチェックマークを付け、[設定] ボタンをクリックすると、[断裁] ダイアログボックスが表示され、仕上がりサイズを設定できます。

注意 / 制限事項

Macintosh で PostScript® ドライバーを利用するにあたっての、注意 / 制限事項を説明します。

- [プリント] をクリックしたあと、[プリント種類] 画面や [認証情報] 画面での設定内容は保存されません。設定内容を保存する場合は、[プリセット] を使用してください。
- [認証情報] 画面の [認証管理モード] は、[ユーザー] で固定されています。
- [認証情報の設定] ダイアログボックスの [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] で、[前回入力した情報を表示する] をチェックしても、設定したユーザーの認証情報は保存されません。設定内容を保存する場合は、[プリセット] を使用してください。
- スタンプとくるみ製本を同時に設定した場合、プリントした部分が断裁されるなど、製本結果が期待どおりにならない場合があります。

macOS/OS X用プリンター/ダイレクトファクス/PostScript® ドライバー操作ガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2019年10月第1版

(帳票 No:ME8707J1-1)